

トヨタ純正

Smart Upgrade Switch

取扱書

目次

1.	はじめに	3
1.1	アプリのインストールについて	3
2.	安全のために	4
2.1	注意・警告・安全のための注意事項	4
2.2	使用上のお願い	5
2.3	お車を手放す前に	5
3.	登録商標	5
3.1	Bluetooth®について	5
3.2	QRコードについて	5
4.	免責事項	6
4.1	その他の規約	6
5.	製品仕様	6
6.	保証について	7
7.	アフターサービスについて	7
8.	ご利用前の準備	8
9.	エンジン（パワー）スイッチの操作について	9
10.	操作権（アプリによる車両操作権限）について	10
10.1	アプリを起動する	11
10.2	初回ログイン方法	12
11.	2回目以降の接続（ログイン）	14
11.1	HOME画面を表示させる	14
12.	HOME画面	15
13.	設定画面	16
13.1	ログイン管理	17
13.2	盗難抑止機能	17
13.3	エラーログ確認	21
13.4	このアプリについて	21
13.5	本体ソフトウェア初期化	22

14. 盗難抑止機能を使用する	23
14.1 盗難抑止機能について	23
14.2 盗難抑止機能の各項目を設定する	24
14.3 緊急解除手順を登録する	26
14.4 盗難抑止機能の動作確認をする	30
14.5 車両警戒中に乗車する 「“乗車検知”後に警戒を解除する場合」	31
14.6 車両警戒中に乗車する 「ドアの解錠後に警戒を解除する場合」	32
14.7 緊急解除手順で始動ロックを解除する	33
14.8 車両警戒中に降車する	33
14.9 身に覚えのない車両操作の通知を受信した	34
15. 本体ソフトウェア初期化をする	34
16. アプリを更新する	36
17. 本体のソフトウェア更新をする	36
17.1 ログイン管理から更新する	36
17.2 通知メッセージから更新する	38
18. 故障かな？と思ったときは	40

1. はじめに

- 『Smart Upgrade Switch』（以下、本製品または本体）は、お客さまご自身のスマートフォン（以下、端末）を使用して、お車を快適に使用するさまざまなサービスを提供できます。
- 車両1台に対して、端末は同時に4台までBluetooth®接続が可能です。4台接続された状態では追加接続はできません。また、接続中の端末のうち1台のみが車両を操作できます。

1.1 アプリのインストールについて

- 本製品を操作するには専用のアプリケーション『TOYOTA Upgrade Switch』（以下、アプリ）をお客さまの端末にインストールする必要があります。また、端末のカメラ、Bluetooth機能、位置情報（常に許可）へのアクセス権限をアプリへ付与する必要があります。
- 専用アプリをダウンロードしてください。下記ダウンロードリンク（QRコード）からダウンロードできます。

・ App Store

https://apps.apple.com/jp/app/toyota-upgrade-switch/id*****

・ Android

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.toyota.toyotaupgradeswitch&hl=ja>

- アプリの対応OSは、iOS 16以降またはAndroid 11以降です。

2. 安全のために

本書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。



警告

記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。



注意

記載事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷するおそれがあること。

2.1 注意・警告・安全のための注意事項



警告

- ・ 本製品の取り付け、取り外し、配線の変更は行わないでください。
不適切な取り付けおよび配線の場合、故障および車両火災などの事故につながるおそれがあります。
本製品の取り付け、取り外しは安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・ 本製品およびアプリの改造を行わないでください。
重大な傷害や事故および最悪の場合、死亡事故につながるおそれがあります。
- ・ 運転者が走行中に端末を使用することは法律で禁止されています。
安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



注意

- ・ 本製品の分解、改造は故障の原因となるため、行わないでください。
万一不具合が生じた場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・ 車両がエンジントップした場合、その復帰時に盗難抑止機能が動作する場合があります。
その場合、【14.5 車両警戒中に乗車する「乗車検知」後に警戒を解除する場合】
または【14.6 車両警戒中に乗車する「ドアの解錠後に警戒を解除する場合」】を参考に警戒状態を解除してください。

2.2 使用上のお願い

取り付け／取り外し
本製品の取り付け／取り外し、初期設定はお買い上げの販売店で行ってください。
著作権について
本製品およびアプリは許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本製品からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリングは固く禁じられています。
車両の修理・車検について
<ul style="list-style-type: none"> ・修理および車検などで一時的にお車を預ける場合、盗難抑止機能を無効（OFF）にしてください。 ・お車が手元に戻った際には、盗難抑止機能を有効（ON）にして正常に機能するかを確認してください。
Bluetooth®について
<ul style="list-style-type: none"> ・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品を使用する時に無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。 ・日本国内以外で使用する場合、各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・分解／改造すること ・本体に貼ってある証明ラベルを剥がすこと ・本製品の通信機能は、すべての環境において常時正常に動作することを保証するものではありません。 ・Bluetooth バージョン5.0以上が対象です。

2.3 お車を手放す前に

お車を手放す際は、本製品の本体ソフトウェア初期化を行い各種登録情報および設定を消去してください。

初期化方法は【15. 本体ソフトウェア初期化をする】を参照してください。

本製品が取り付けられた状態で他のユーザーおよび販売店へお車が渡った場合、本製品の機能が意図せず作動して、自走できなくなるおそれがあります。

3. 登録商標

3.1 Bluetooth®について

Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、当社はライセンスに基づいて使用しています。

3.2 QR コードについて

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

4. 免責事項

- 本製品およびアプリは各種の規格に基づいた製品仕様になっておりますが、接続する端末によっては、正常に動作しない場合があります。
- 火災および地震、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤使用、異常な状況下での使用による故障および損害が生じた場合の補償はできません。
- 本製品およびアプリの使用、使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失など）に関しては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品と他の用品を取り付けていることで、本製品または他の用品の機能が制約を受ける場合があります。

警戒状態の場合、エンジン始動、HVシステム起動を伴うその他の機能は車両純正機能*であつても本製品アプリでの始動ロック解除操作が無ければご利用いただけないことがあります。

また、乗車を検知し、車内への威嚇音声および端末へ通知されることがあります。

* 例1：リモートスタート

利用前に、本製品アプリでの始動ロック解除が必要な場合があります。

例2：アドバンストパーク（出庫時）

利用前に、本製品アプリでの始動ロック解除が必要です。

- 盗難抑止機能を有効（ON）にした際には、正常に機能していることをお客さま自身で確認してください。確認方法は【14.4 盗難抑止機能の動作確認をする】を参照してください。
- 盗難抑止機能はリレーアタック、CANインベーター、キーコピー（通称：ゲーム ボーイなど）を含む幅広い手口に対して効果を発揮しますが、あくまでセキュリティ性を向上することを目的としたシステムであり、すべての盗難被害防止を保証するものではありません。

4.1 その他の規約

その他の規約につきましては、アプリ内の『利用規約』をご覧ください。

5. 製品仕様

定格電圧	DC 12 V	
作動温度範囲	－ 30 ℃ ～ ＋ 80 ℃	
定格電流	作動時	250 mA以下
	待機時	1 mA以下
Bluetooth®規格	5.0 Low Energy	
周波数	2.4 GHz帯	

6. 保証について

■ 保証の内容

販売店でご購入された純正用品に材料、または製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。

（以下、無償修理を保証修理といいます。）

保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。また、取り外した不具合部品はトヨタの所有となります。

■ 保証の期間、受け方

(1) 保証期間

保証修理を受けられる期間は、商品をお車に施工した日をご使用開始日として起算し3か年間とします。ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでとします。

(2) 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、販売店または認定サービス工場へ自動車に取り付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

■ 保証しない事項

(1) 保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。

- 1) 販売店以外での取り付け、修理およびトヨタが認めていない改造など。
- 2) 取扱書に示す取り扱い方法とは異なる使用および不適切な保管など。
- 3) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災など。

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- 1) 消耗部品および油脂類など（ヒューズ、各種電球など）。
- 2) 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失など。
- 3) 盗難被害に関する損失など。

■ 保証の適用

日本国内で使用されている場合にのみ適用いたします。

■ その他

保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

施工日	走行距離	施工販売店および店名

7. アフターサービスについて

■ 修理・故障したときの保証についてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 製品の使い方・仕様に関するお問い合わせは下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター 全国共通フリーコール 0800-700-7700

受付時間：9:00～17:00（除く年末年始）

所在地：450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

8. ご利用前の準備

- お客さまの端末に本製品のアプリをインストールしてください。

<アドバイス>

- ・複数の端末で車両にログインする場合、すべての端末で初回ログインが必要です。
- ・本製品はBluetooth通信を使用します、端末のBluetooth機能をONにしてください。

- 本製品の取り付け後に販売店から受け取った「ラベルシール」(初回ログイン用QRコード)をお手元に準備してください。

ラベルシール

本体ID:

KEY:



【お願い】

ラベルシールは車両に取り付けた本体と端末を接続するための固有情報が記載されています。

ラベルシールの情報が第三者に漏れないようにご注意ください。

また、初回ログイン以降でも必要となる場合がありますので、ラベルシールを紛失しないように大切に保管してください。

- 本製品の取り付け後に販売店から受け取った「パスワード記録シート」をお手元に準備してください。

パスワード記録シート

The form contains fields for recording user information and passwords. It includes a header section with the title 'パスワード記録シート' and a main body with several input fields and checkboxes. A note at the bottom states: '本製品案内に付属せず、同封のラベルシールと共に自宅などの安全な場所で大切に保管してください。' (This is not included in the product manual, please keep it safely with the label sticker in a safe place at home.)

【お願い】

パスワード記録シートはアプリに使用しているユーザーパスワードと緊急解除手順を万が一に備えて記録しておくものです。

パスワード記録シートの情報が第三者に漏れないようにご注意ください。

ご自宅などの安全な場所で大切に保管してください。

【注意事項】

- ・初回ログインを行った後は、盗難抑止設定が常時警戒ONモードに設定されています。
- ・パスワードを複数回間違えると、認証ロックが発生し、一定時間ログインできなくなります。また、認証ロック発生時は他の接続中端末も認証ロックされ、再ログインする際は一定時間ログインできなくなります。

9. エンジン（パワー）スイッチの操作について







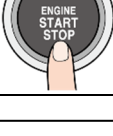
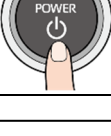
- 本書で使用しているエンジン（パワー）スイッチの操作について説明します。

お客さまの操作／動作	お車の状態
エンジン（パワー）スイッチを押す。 ・ ブレーキペダルを踏まずにエンジン（パワー）スイッチを押してください。	お車の電源状態が切りかわります。
エンジン（パワーシステム）を始動する。 ・ ブレーキペダルを踏みながらエンジン（パワー）スイッチを押してください。	ガソリン、ディーゼル車：エンジンが始動します。 HEV、PHEV車：HEVシステムが始動し、READYインジケーターが点灯します。 以下の文章では、この状態をエンジン（パワーシステム）が始動と表記します。

- 本書で使用している車両電源状態の切りかえについて説明します。

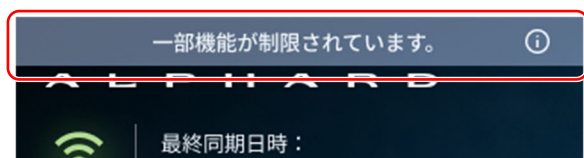
ブレーキペダルを踏まずにエンジン（パワー）スイッチを押すと、お車の電源状態が切りかわります*。

* お車の設定によっては動作が異なる場合があります。

スイッチ操作	お車の電源状態
ガソリン車 ディーゼル車  ハイブリッド車 プラグインハイブリッド車 	OFF ・ エンジン（パワーシステム）は停止しています。
↓ スイッチ操作1回目	
エンジンスイッチを押す  パワースイッチを押す 	アクセサリー ON（ACC ON） ・ エンジン（パワーシステム）は停止しています。 ・ お車の設定によっては、アクセサリー ONに入らず、1回目のスイッチ操作でパワー ONに遷移する場合があります。
↓ スイッチ操作2回目	
エンジンスイッチを押す  パワースイッチを押す 	パワー ON（イグニッション ON） ・ エンジン（パワーシステム）は停止しています。
↓ スイッチ操作3回目	
エンジンスイッチを押す  パワースイッチを押す 	OFF ・ エンジン（パワーシステム）は停止しています。

10. 操作権（アプリによる車両操作権限）について

- 車両1台に対して端末は同時に4台まで接続可能ですが、接続中の端末のうち1台のみが車両を操作できます。
- 操作可能な端末に対して、車両から操作権を付与し操作権がある端末のみが操作可能になります。操作権がない場合、「一部機能が制限されています。」のメッセージが表示されます。



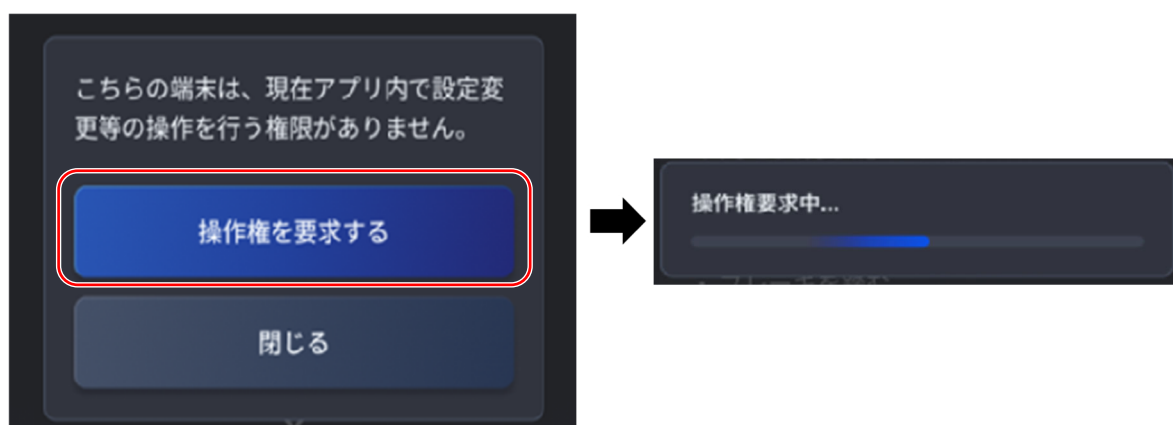
- 操作権は車両に最初にログインをした端末に付与されます。操作権が付与された端末がアプリを閉じた際は、どの端末に対しても操作権がない状態になります。この状態で新たにログインをした端末に操作権が付与されます。

ログイン済みの操作権がない端末に操作権を付与したい場合、操作権が付与された端末のアプリを閉じて、どの端末に対しても操作権がない状態にしてから、以下の手順で操作権要求を行ってください。

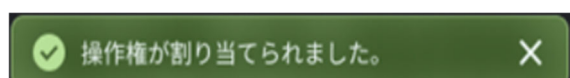
1. メッセージのインフォメーションマークをタップします。



2. 『操作権を要求する』ボタンをタップします。



3. 「操作権が割り当てられました。」のメッセージが表示されれば操作権が端末に付与されています。



10.1 アプリを起動する

1. 車両の電源状態をアクセサリー ONまたはパワー ONにします。
2. アプリのアイコンをタップし、アプリを起動します。



3. 『TOYOTA Upgrade Switch利用規約』をタップし、利用規約を確認します。



<アドバイス>

『TOYOTA Upgrade Switch利用規約』をタップするとリンク先へ飛びます。

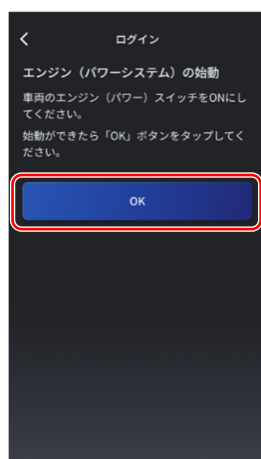
4. 『利用規約に同意する』*にチェックを入れ、『はじめる』ボタンをタップします。



* 本サービスをご利用いただくには、利用規約への同意が必要です。同意いただけない場合、サービスをご利用いただけませんのでご了承ください。

10.2 初回ログイン方法

1. 車両のエンジン（パワーシステム）を始動させてから『OK』ボタンをタップします。



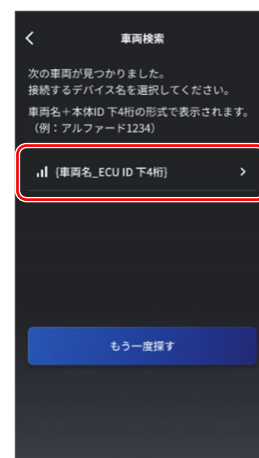
2. アプリが車両を探します。



<アドバイス>

- 「車両がみつかりませんでした。」が表示された場合、アプリに表示された確認事項を確認してください。
- 同時に車両へログインできる端末の上限は4台です（5台目からはログインできません）。

3. 画面に表示された「車両名」と「本体ID」に間違いがないことを確認してタップします。



<アドバイス>

- 「本体ID」は、ラベルシールに記載されている「本体ID」の下4桁です。
- ログイン対象の車両が表示されない場合、『もう一度探す』ボタンをタップします。

4. 『QRコードでログインする』 ボタンをタップします。



<アドバイス>

- 手順4の『QRコードでログインする』または『ログインする』 ボタンをタップしてから、2分以内に手順6の『設定する』 ボタンをタップしてください。
- QRコードを読み取るには、端末のカメラへのアクセス権限をアプリに付与する必要があります。
- 「本体ID」と「KEY」を直接入力して、以下の手順でログインすることもできます。
 - 1) ラベルシールに記載されている「本体ID」と「KEY」を入力する。
 - 2) 『ログインする』 ボタンをタップする。

5. 端末のカメラで、ラベルシールのQRコードを読み取ります。



6. 画面上に表示されているユーザーパスワードの設定条件を確認した後、ユーザーパスワード(任意)を入力し、『設定する』ボタンをタップします。



<アドバイス>

- 新規端末でログインする場合に、今回設定したユーザーパスワードを使用します。
「パスワード記録シート」にユーザーパスワードを記録してください。
- ユーザーパスワードは「ログイン管理」のインフォメーションアイコンからいつでも確認／変更が可能です。
詳細は【13.1 ログイン管理】を参照してください。

7. 「ログイン完了」画面が表示されたら初回のログインは完了です。
『OK』ボタンをタップし、「HOME」画面へ移動します。



<アドバイス>

本体に対してログインできる端末数に制限はありませんが、接続できる端末数は4台までです。

11. 2回目以降の接続（ログイン）

同端末による2回目以降の接続については自動でログインし、アプリ起動時には「HOME」画面が表示されます。

11.1 HOME 画面を表示させる

1. アプリのアイコンをタップし、アプリを起動します。



2. 「HOME」画面が表示されます。



<アドバイス>

過去に接続したことがある車両が複数台ある場合、『自動接続選択車両ボタン』が有効になっている車両が「HOME」画面に表示されます。

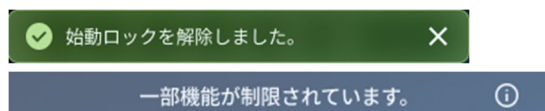
詳細は【13.1 ログイン管理】を参照してください。

12. HOME 画面



(1) 車両名／メッセージ表示

ログインをしている車両名表示されます。また、始動ロックに関わるメッセージが表示されます。



(2) 接続状態表示

	本体と端末のBluetooth接続が確立されている状態です。
	本体と端末のBluetooth接続が確立されていません。端末が本体を検知すれば再接続する状態です。
	本体と端末のBluetooth接続が停止している状態（本体を検知できない）です。アイコンをタップするとエラーダイアログが表示されます。

(3) セキュリティ状態表示

車両の監視状態および始動ロック状態を表示します。設定を変更した場合、本体の設定変更の反映は降車してから数分後になります。その間、本体の制御状態と表示にズレが生じる場合があります。

詳細は【13.2 盗難抑止機能】を参照してください。

セキュリティ状態表示部をタップした場合、盗難抑止機能の「設定」画面が表示されます。

	盗難抑止機能が常時作動中です。車両の操作を検知します。
	盗難抑止機能が停止中です。車両の操作を検知しません。
	指定時間内のため、盗難抑止機能が作動中です。車両の操作を検知します。
	指定時間外のため、盗難抑止機能が停止中です。車両の操作を検知しません。
	始動ロックが作動中です。『解除する』ボタンをタップすると、始動ロックが解除されます。

(4) 本体通知

本体に関わる情報が表示されます。また、エラー発生時にもメッセージが表示されます。



(5) 車両／接続機器情報表示

車両および、本製品に接続している機器の情報が表示されます。

(6) アプリ通知

アプリに関わる情報が表示されます。

<アドバイス>

アプリに表示される車両状態は最新状態でない場合があります。車両電源がパワー ONの状態であれば、10秒間隔で更新されます。

13. 設定画面

各種設定は車両電源がアクセサリー ONまたはパワー ONで行ってください。



(1)	ログイン管理
過去に接続したことのある車両の情報確認ができます。 自動接続の対象車両およびユーザーパスワードの変更ができます。 詳細は【13.1 ログイン管理】を参照してください。	
(2)	盗難抑止機能
盗難抑止機能の設定を変更できます。また、盗難抑止機能が検知した履歴が確認できます。 詳細は【13.2 盗難抑止機能】を参照してください。	
(3)	エラーログ確認
本体に関するエラー状態が表示されます。 詳細は【13.3 エラーログ確認】を参照してください。	
(4)	このアプリについて
アプリのバージョン、ヘルプ、利用規約などが確認できます。 詳細は【13.4 このアプリについて】を参照してください。	
(5)	本体ソフトウェア初期化
本体を初期化します。 本体の設定情報が削除されますが、販売店で登録されている車両登録情報は削除されません。 詳細は【13.5 本体ソフトウェア初期化】を参照してください。	

13.1 ログイン管理

接続可能な車両が一覧で確認できます。



(1) 自動接続車両選択ボタン

選択されている車両が、自動接続されて「HOME」画面に表示されます。

(2) インフォメーションアイコン

インフォメーションアイコン『i』ボタンをタップすると「車両情報」画面が表示され、「ユーザーパスワードの変更」、「本体のソフトウェア更新」、「ログアウト」ができます。



(3) 新規車両でログインする

一覧に表示されていない車両にログインする場合に使用します。
アプリに登録できる車両は最大3台です、すでに3台登録されている場合、このボタンは表示されません。

13.2 盗難抑止機能

盗難抑止機能をご使用になる場合、【14 盗難抑止機能を使用する】を参照してください。



(1) 盗難抑止設定

盗難抑止機能をどのように使用するかを設定します。

設定を変更した場合、『設定を保存する』ボタンをタップしてください。

変更した設定の反映タイミングは、車種および車両状態により異なりますが、エンジン（パワーシステム）をOFFにした後、約5分後（次回本体起動時）です。





常時警戒ON

盗難抑止機能が常に車両を監視します。

常時警戒OFF

盗難抑止機能を停止します。
車両の監視は行いません。

スケジュール	<p>スケジュールを選択した場合、ONになっている時間帯のみ盗難抑止機能が車両を監視します。</p> <p>『時間追加』から時間帯（警戒を開始する時刻と警戒を終了する時刻）を登録します。最大4つの時間帯が登録でき、登録した時間帯別にON  / OFF  の切り替えができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数のスケジュールを設定し、ONになっているスケジュールの時間帯が重複する場合、継続して警戒を行います。 <p>例) 22 : 00-5 : 30 (ON) と 3 : 00-8 : 00 (ON) の場合、22 : 00-8 : 00が監視対象時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始時刻と終了時刻を同一時刻で登録した場合、常時警戒ONと同じ状態になります。 <p>例) 10 : 00-10 : 00 (ON) の場合、常に監視中</p> <p>車両盗難が多い夜間の時間帯をスケジュール設定に登録して盗難抑止機能を有効にし、日中の時間帯は無効にしておくなどの使い方ができます。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 緊急解除手順

緊急解除の手順を登録／変更します。
盗難抑止機能による始動ロック状態に対して、車両操作を行い解除することを「緊急解除」といいます。

端末の不携帯／故障などで端末による始動ロック解除ができない場合に備え、緊急解除機能を有効化することができます。

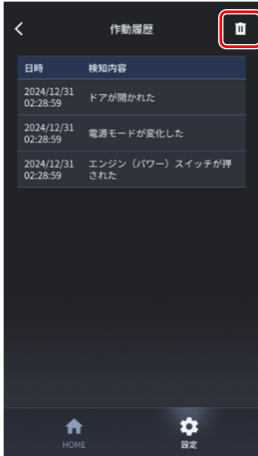



使用方法は【14.3 緊急解除手順を登録する】を参照してください。

(3) 音声設定	<p>専用スピーカーから発するロック時音声（警告メッセージ）および操作時のフィードバック音のON／OFFを設定します。</p> <p>音量の調整はできません。</p> <p>設定を変更した場合、『設定を保存する』ボタンをタップしてください。</p> <div data-bbox="316 528 572 983"></div>
ロック時 音声	<p>警戒中に乗車を検知する車両操作を検知した場合、ロック時音声（警告メッセージ）が3回繰り返されて約30秒間鳴ります。</p> <p>乗車を検知する車両操作については【(4) 遅延設定】を参照してください。</p>

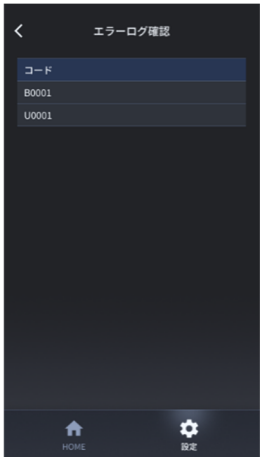
フィード バック音	<p>“ピッ” と鳴る。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 認証完了・ 常時警戒ON 設定時にエンジン（パワー）スイッチ OFF
	<p>“ピッピッ” と鳴る</p> <ul style="list-style-type: none">・ スケジュール設定時にエンジン（パワー）スイッチ OFF（起動時に警戒時間内だった場合）
	<p>“ピーツ” と鳴る</p> <ul style="list-style-type: none">・ 認証切れ時<ol style="list-style-type: none">1) エンジン（パワー）スイッチ OFF で認証操作実施後、降車時遅延時間内にアクセサリ ON またはパワー ON しなかった時2) エンジン（パワーシステム）OFF 後に降車時遅延時間が経過した時・ 端末操作による本体ソフトウェア初期化完了時 <p>降車時遅延については【(4) 遅延設定】を参照してください。</p>

(4) 遅延設定	
<p>警戒中に車両への乗車と降車を検知した場合の動作までの時間を設定します。</p> <p>設定を変更した場合、『設定を保存する』ボタンをタップしてください。</p> <p>＜乗車を検知する車両操作＞</p> <p>以下3点のいずれかで、乗車と判定されます（以降、乗車検知）。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ドアが開く・ パワー ONまたはアクセサリー ON・ エンジン（パワー）スイッチを押す <p>＜降車を検知する車両操作＞</p> <p>車両のエンジン（パワーシステム）がOFFになったタイミングで、降車と判定されます（以降、降車検知）。</p> <div></div>	
乗車時	<p>【遅延設定：ON 】</p> <p>遅延設定をONにした場合、車両への“乗車検知”をしてからロック時音声鳴り、端末への通知を行うまでの猶予時間を『遅延時間』で設定します。</p> <p>この猶予時間内に端末による認証操作を行い、警戒を解除するとロック時音声は鳴りません。</p> <p>【遅延設定：OFF 】</p> <p>車両への“乗車検知”をしたら即時ロック時音声鳴ります。</p>

降車時	<p>「常時警戒ON」または「スケジュール」による警戒時間内かつ始動ロック解除の状態、“降車検知”をしてから警戒開始までの猶予時間を『遅延時間』で設定します。</p> <p>猶予時間内に降車できなかった場合、ドアを開けるとロック時音声鳴り、端末に通知が届きます。</p> <p>再度始動する場合は認証操作を行ってください。</p>
(5) 作動履歴	
<p>本体が検知した車両操作の内容が履歴として表示されます。</p> <div></div> <ul style="list-style-type: none">・ 検知した際の車両状態により、日時が表示されない場合があります。・ アプリに表示される作動履歴は最新状態ではない場合があります。・ 検知内容は、車両電源がパワー ONの状態アプリを再起動すると更新されます。・ 乗車検知後、端末による認証操作を行った場合は記録されません。・ 『』ボタンをタップして、作動履歴を削除できます。	

13.3 エラーログ確認

本体に関するエラーログが表示されます。
本体の作動状況に異常を感じたらエラーログを確認し、エラーコードを販売店に連絡してください。



13.4 このアプリについて



(1)	アプリバージョン
端末にインストールされているアプリのバージョンを確認できます。	
(2)	よくある質問
リンク先では、本製品の操作・機能についてのQ&Aが確認できます。	
(3)	アプリのヘルプ
リンク先では、アプリのヘルプが確認できます。	
(4)	利用規約
本製品の利用規約が確認できます。	
(5)	オープンソースソフトウェア情報
アプリで使用しているオープンソースソフトウェアが確認できます。	
(6)	お車を手放す前に
本書へのリンクです。 お車を手放す際に本体ソフトウェア初期化を行ってください。	

13.5 本体ソフトウェア初期化

- 車両を手放す際は『本体ソフトウェア初期化』を行ってください。
- 『本体ソフトウェア初期化』を行うと「ユーザーパスワード」、「盗難抑止機能の設定内容」が本体から消去されます。
『本体ソフトウェア初期化』後は、ログアウトの状態になっており、盗難抑止設定は『常時警戒OFF』になっています。
また、ログインする際には「本体ID」と「KEY」を使用する（またはQR コードを使用する）ログインが必要になり、ログイン後は盗難抑止設定が『常時警戒ON』になります。
- 初期化を行う場合、画面の指示にしたがってください。
使用方法は【15. 本体ソフトウェア初期化をする】を参照してください。



14. 盗難抑止機能を使用する

14.1 盗難抑止機能について

- 盗難抑止機能は、「始動ロック」、「音声威嚇」および「端末への通知」でお客さまのお車を盗難からお守りするサポートをします。
- アプリを使用して盗難抑止機能を“有効”にした場合、車両警戒中になります。



- 盗難抑止機能による車両警戒中は「始動ロック」により、アプリでの認証操作を行わないとエンジン（パワーシステム）を始動できません。
- 盗難抑止機能“有効”時に“乗車検知”をした場合、以下の動作が行われます。

アプリ側の動き	<p>車両の操作を検知した旨のメッセージが端末に表示されます（リアルタイム通知）。</p> <p>リアルタイム通知は、車両と端末の距離（10数メートルの範囲）および通信環境などの条件により通知を受信できない場合があります。</p> <p>アプリを起動していない時でもリアルタイム通知を受信するには、端末の位置情報へアプリがアクセスすることを常に許可する設定にしてください。</p>
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

車両側の動き	<p>「始動ロック」が働き、エンジン（パワーシステム）の始動ができません。</p>
	<p>『ロック時音声』設定がONになっていると、専用スピーカーからロック時音声が鳴ります。</p>

- 使用者が警戒中にエンジン（パワーシステム）を始動する時は、警戒を解除する必要があります。
 - 1) 端末で認証操作する。
 認証操作は車両電源がパワー ON の状態で行うことを推奨します。
 認証方法は【14.5 車両警戒中に乗車する「乗車検知」後に警戒を解除する場合】、【14.6 車両警戒中に乗車する「ドアの解錠後に警戒を解除する場合】を参照してください。
 - 2) 車両を操作して認証操作をする（緊急解除手順を入力する）。
 緊急解除の使用方法は【14.7 緊急解除手順で始動ロックを解除する】を参照してください。

* 『緊急解除手順』は事前に設定する必要があります。
 緊急解除手順の登録方法は【14.3 緊急解除手順を登録する】を参照してください。

14.2 盗難抑止機能の各項目を設定する

1. 「設定」画面の『盗難抑止機能』ボタンをタップします。



2. 『盗難抑止設定』ボタンをタップします。



3. 盗難抑止機能を“有効”にするために、『常時警戒ON』ボタンまたは『スケジュール』ボタンをタップします。
4. 設定変更後は『設定を保存する』ボタンをタップします。



<アドバイス>

- 初期設定は『常時警戒ON』が選択されています。
- 『スケジュール』を選択した場合、盗難抑止機能を“有効”にする時間帯を『時間追加』ボタンから登録してください。以下の場合、盗難抑止機能は“無効”となり、動作しません。
 - ・登録したスケジュールの時間外である。
 - ・登録したスケジュールが選択されていない。
- 盗難抑止機能はナビの時刻をもとに動作します。ナビの時刻設定を「GPS連動」にしてください。

5. 『音声設定』ボタンをタップします。

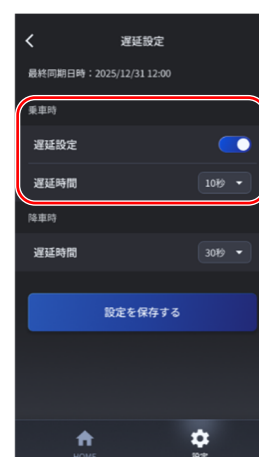


6. 「ロック時音声」と「フィードバック音」のON/OFFを設定します。

7. 設定変更後は『設定を保存する』ボタンをタップします。



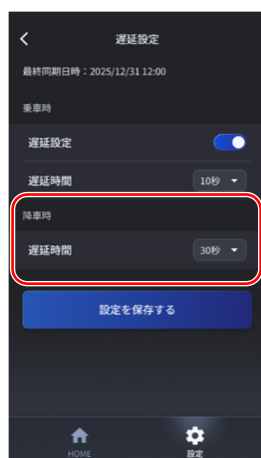
8. 『遅延設定』ボタンをタップします。

9. 【乗車時】では、車両への乗車検知時にロック時音声が出るまでの遅延時間を設定します。
OFFにした場合、乗車検知後即時ロック時音声が鳴ります。

<アドバイス>

設定した遅延時間内に端末による認証操作を行った場合、ロック時音声は鳴りません。

10. 【降車時】では、車両から降車を検知（エンジン（パワー）スイッチ OFF）してから、警戒を開始するまでの遅延時間を設定します。



<アドバイス>

遅延時間後は警戒中になります。車両からの降車時（ドアを開ける）、再度アクセサリ ON またはパワー ON 時にロック時音声が鳴り、端末への通知が行われます。そのまま警戒したい場合、操作不要です。

11. 設定変更後は『設定を保存する』ボタンをタップします。



14.3 緊急解除手順を登録する

- 緊急解除とは盗難抑止機能による始動ロック状態を解除する方法の一つです。
- 端末は使用せず、“車両を操作”して解除する方法です。
- 緊急解除を使用するには、手順の登録が必要です。

1. 「設定」画面の『盗難抑止機能』ボタンをタップします。



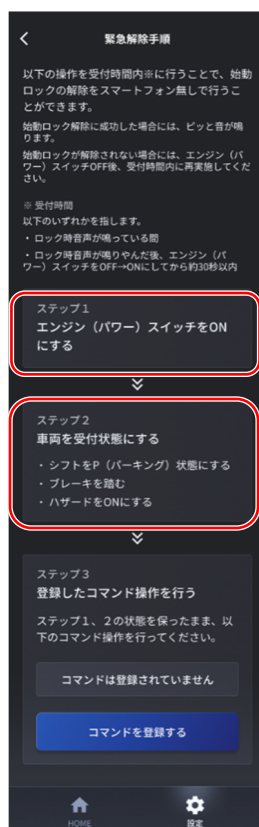
2. 『緊急解除手順』ボタンをタップします。



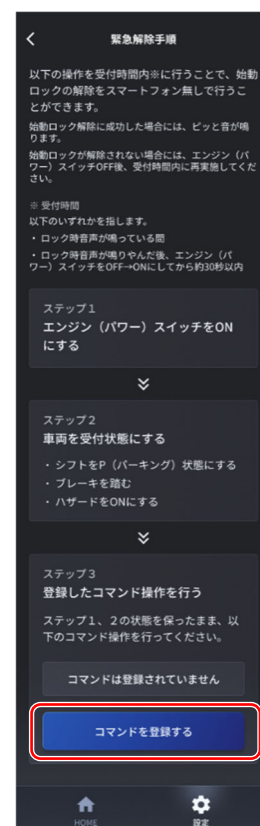
3. 「ステップ1」に従い、パワー ONにします。
4. 「ステップ2」に従い、車両を緊急解除手順“受付状態”にします。

<受付状態>

- ・シフトをP にする。
- ・ブレーキを踏む。
- ・ハザードランプをON にする。



5. ステップ1、ステップ2の状態を保持したまま『コマンドを登録する』ボタンをタップします。



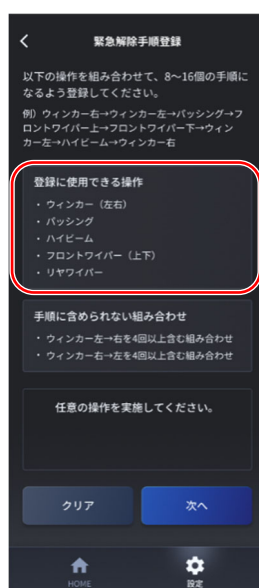
<アドバイス>

手順登録途中でも、画面左上の『<』ボタンをタップして前の画面に戻ることができます。

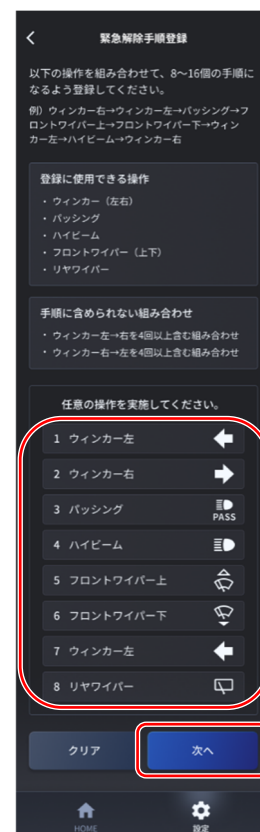
6. 任意の手順を「緊急解除手順」として登録します。
8個～16個の操作を組み合わせてください。

<使用可能な操作>

- ・ウィンカー（左右）
- ・パッシング
- ・ハイビーム
- ・フロントワイパー（上下）
- ・リヤワイパー



7. 操作した手順が画面に表示されていることを確認します。
8. 手順の登録完了後『次へ』ボタンをタップします。



<アドバイス>

- 登録できない操作の組み合わせがあります。登録ができない場合、別の操作を組み合わせてください。
- ウィンカー左→右を4回以上含む組み合わせは登録できません。
- ウィンカー右→左を4回以上含む組み合わせは登録できません。

操作の検出条件

- ・フロントワイパー上：OFF からMIST 操作
- ・フロントワイパー下：OFF からINT/L0/HIのいずれかの操作（OFF からINT 操作し、続けてINT からL0 への操作についても1回の検出となります）。
- ・リヤワイパー：OFF から間欠／通常のどちらかの操作（OFF から間欠操作し、続けての通常操作についても1回の検出となります）。

9. 登録した手順が表示されます。確認のため、同じ操作を行ってから、『次へ』ボタンをタップします。

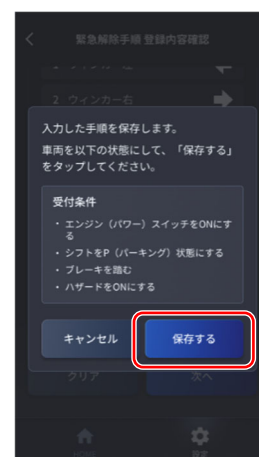


<アドバイス>

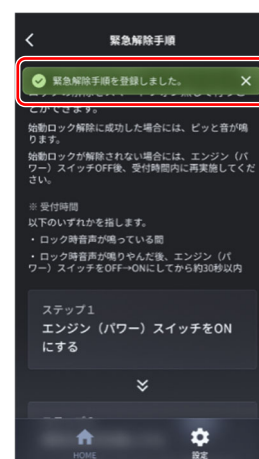
- 「パスワード記録シート」に緊急解除手順を記録してください。
- 操作が一致しなかった場合、『OK』ボタンをタップして、再度手順の確認操作を行ってください。



10. 画面に従い車両の状態を操作し、『保存する』ボタンをタップします。

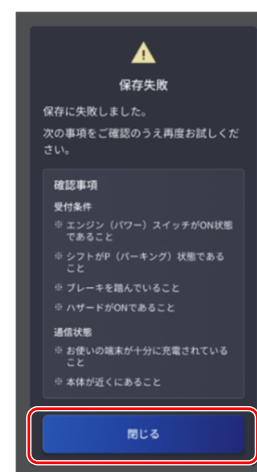


11. 登録が完了したことを確認します。



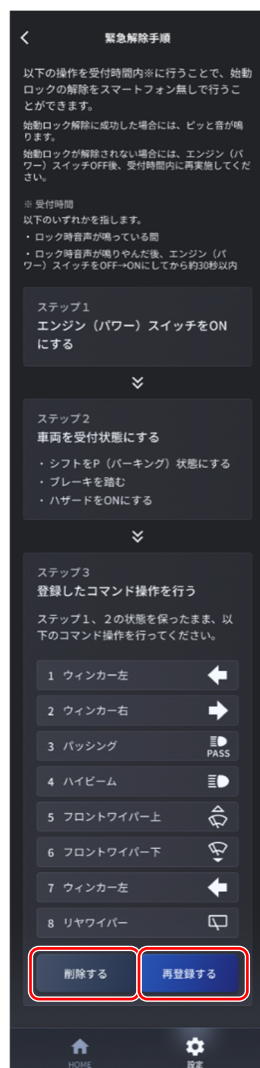
<アドバイス>

「保存失敗」が表示されたら画面の確認事項を確認して、『閉じる』ボタンをタップして再度保存してください。



<アドバイス>

- 緊急解除手順の削除および再登録は初回登録以降の「緊急解除手順」画面で行えます。
- 『削除する』ボタンをタップして手順を削除した場合、緊急解除手順の機能は“無効”になります。
『再登録する』ボタンから新しい手順を登録してください。



12. 登録完了後、緊急解除手順の操作を実施して始動ロック状態が解除できることを確認します。
確認方法は【14.7 緊急解除手順で始動ロックを解除する】を参照してください。

14.4 盗難抑止機能の動作確認をする

1. 盗難抑止機能が“有効”な設定を選択します。
「盗難抑止設定」にて、「常時警戒ON」または「スケジュール」を選択する。
2. 車両をエンジン（パワーシステム）OFFの状態にする。
3. 本体と端末の接続が切れるまでスマートキーを動かさないようにして待機する（約5分間）。
4. エンジン（パワーシステム）始動操作をして、エンジン（パワーシステム）が始動しないことを確認する（エンジン（パワーシステム）が始動しないのであれば、盗難抑止機能は有効です）。

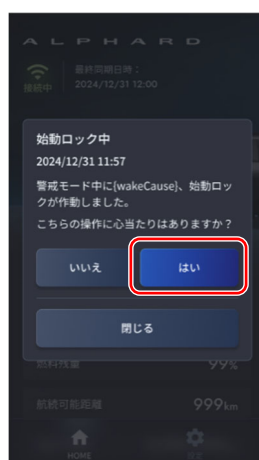
<アドバイス>

- 動作確認は定期的に行うことを推奨します。
- ロック時音声、リアルタイム通知は乗車時遅延を設定している場合、その時間分遅れます（始動ロックは時間内も有効）。
- 設定反映までの待機時間は下記条件によって変わります。
 - ・お車の中で待機（約5分）
 - ・お車から離れて待機（約1分）
- エンジン（パワーシステム）OFF後、車室内からドアの解錠を行った場合、オートアラームが作動するおそれがあります。
- お車によっては、始動ロック中にエンジン（パワーシステム）始動を行うと、「Pレンジにいてください」などの警告がメーターに表示される場合がありますが、始動ロックを実施することで発生するものです。始動ロック解除中に警告が発生する場合、シフトポジションをご確認いただき、Pレンジでも発生する場合、販売店へ点検を依頼してください。

14.5 車両警戒中に乗車する 「乗車検知」後に警戒を解除する場合」

端末を使用して認証操作する場合、端末が車両にログインをしている必要があります。

1. 車両が“乗車検知”をした場合、端末はメッセージを受信します（リアルタイム通知）。
2. 『はい』ボタンをタップします。



<アドバイス>

- リアルタイム通知はBluetooth接続処理のため、受信までに時間を必要とする場合があります。
- 遅延設定（乗車時）の設定状況に応じて、ロック時音声が鳴ります。
- リアルタイム通知は、車両にログイン済みの端末が受信できます。
- 『いいえ』ボタンまたは『閉じる』ボタンをタップした場合、【14.6 車両警戒中に乗車する「ドアの解錠後に警戒を解除する場合」】を参照してください。

3. リアルタイム通知の『はい』ボタンをタップした場合、本体は使用者が認証操作をしたと判断し、始動ロックを解除します。



4. エンジン（パワーシステム）が始動することを確認します。

<アドバイス>

エンジン（パワーシステム）が始動しない場合でも、「始動ロックを解除しました。」のメッセージを受信していたら、再度エンジン（パワーシステム）始動操作を試してください。

14.6 車両警戒中に乗車する 「ドアの解錠後に警戒を解除する場合」

乗車をする前に、事前に始動ロック解除をしておくこともできます。
端末が車両にログインをしている必要があります。

1. スマートキーもしくはドアノブを使用してドアを解錠します。

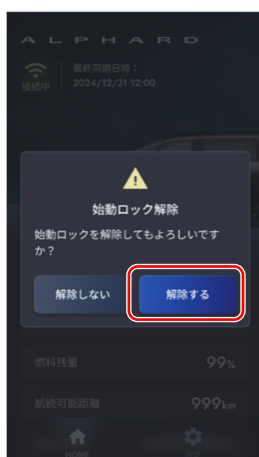
<アドバイス>

ドアの解錠のみ行ってください。
ドアを開けると乗車を検知します。

2. 「HOME」画面に表示されている『解除する』ボタンをタップします（『解除する』ボタンが表示されるまで約5秒～10秒ほどかかります）。



3. 『解除する』ボタンをタップします。



4. ロックの解除が完了すると「始動ロックを解除しました。」のメッセージが表示されます。



14.7 緊急解除手順で始動ロックを解除する

1. 車両に乗り込み、車両を緊急解除手順受付状態にします。
 <受付状態>
 - ・パワー ON にする。
 - ・シフトをP にする。
 - ・ブレーキを踏む。
 - ・ハザードランプをON にする。

2. ロック時音声が始めてから鳴り終わるまでの間（約30秒）に登録済みの緊急解除手順の操作を実施します。

<アドバイス>

- 緊急解除手順を忘れた場合、「パスワード記録シート」を参照してください。
- 操作に成功した場合、専用スピーカーから“ピッ”というフィードバック音が鳴ります（フィードバック設定ON 時）。

3. エンジン（パワーシステム）を始動させます。

<アドバイス>

緊急解除手順の操作を失敗した場合、エンジン（パワー）スイッチ OFF →パワー ON に操作し、手順1から再実施してください。この際、ロック時音声は鳴りませんが、再度パワー ON にしてから約30秒間は緊急解除手順の入力を受け付けます。

14.8 車両警戒中に降車する

1. 車両のエンジン（パワーシステム）をOFF にして降車します。

エンジン（パワーシステム）がOFF になると、警戒モードに応じたフィードバック音が鳴り、現在の警戒状態をお知らせします。

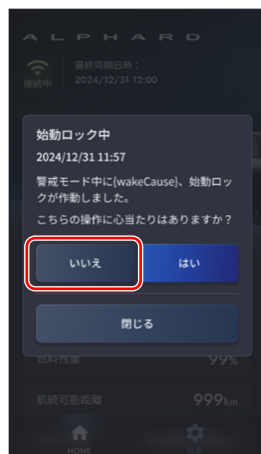
常時警戒ON	“ピッ”（約0.1秒）
常時警戒OFF	なし
スケジュール*	“ピッピッ” （約0.1秒×2回）

* 本体起動時に警戒時間内だった場合

2. エンジン（パワーシステム）OFF 後、『遅延設定（降車時）』で設定した時間経過後にフィードバック音が“ピーッ”（約1秒）と鳴り、『盗難抑止設定』の設定に応じた車両の警戒が開始します。

14.9 身に覚えのない車両操作の通知を受信した

1. 使用者が車両の操作をしていないのに通知を受信した場合、『いいえ』ボタンをタップします。



2. お客様の安全を確保して、車両に異常がないか確認してください。

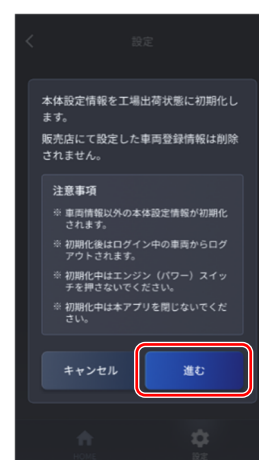


15. 本体ソフトウェア初期化をする

1. エンジン（パワー）スイッチをON にします。
2. 「設定」画面の『本体ソフトウェア初期化』ボタンをタップします。



3. 注意事項を確認して『進む』ボタンをタップします。

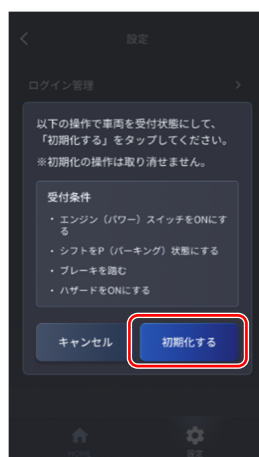


4. 車両を初期化“受付状態”にします。

<受付状態>

- ・パワー ON にする。
- ・シフトをP にする。
- ・ブレーキを踏む。
- ・ハザードランプをON にする。

5. 『初期化する』ボタンをタップします。



6. 初期化中は、エンジン（パワー）スイッチを押さず、アプリを閉じないようにして待ちます。

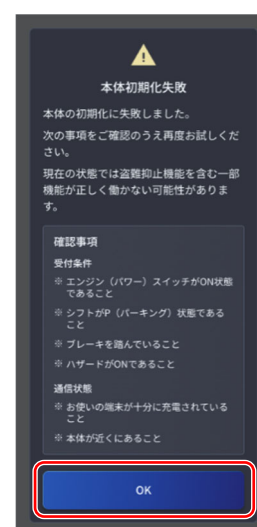


7. 初期化が完了したことを確認します。



<アドバイス>

「本体初期化失敗」が表示された場合、確認事項を確認し、『OK』ボタンをタップして再度初期化を行ってください。



16. アプリを更新する

1. アプリの新しいバージョンがリリースされると、「HOME」画面に「新しいバージョンがあります。」のメッセージが表示されます。



2. 『更新する』ボタンをタップします。

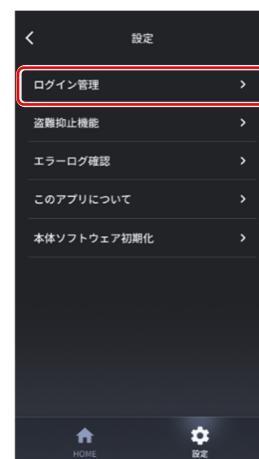


3. ダウンロードサイトから、アプリを更新してください。

17. 本体のソフトウェア更新をする

17.1 ログイン管理から更新する

1. エンジン（パワー）スイッチをON にします。
2. 「設定」画面の『ログイン管理』ボタンをタップします。



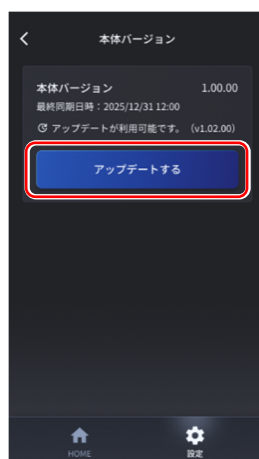
3. インフォメーションアイコン『i』ボタンをタップします。



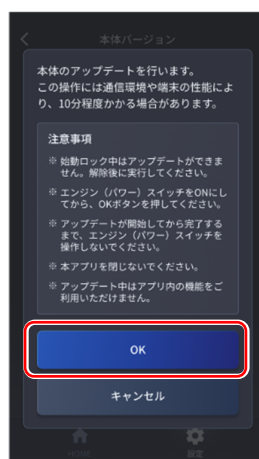
4. 『アップデート確認』ボタンをタップします。



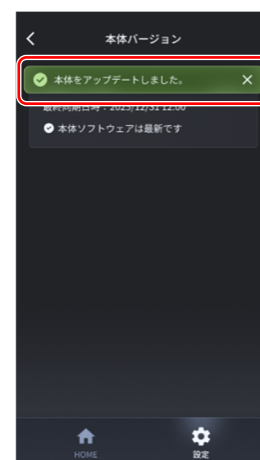
5. 『アップデートする』ボタンをタップします。



6. 画面に従い車両の状態を操作し、『OK』ボタンをタップします。

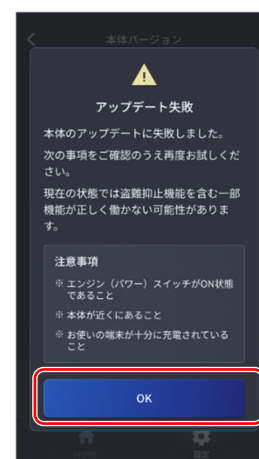


7. アップデートが完了したことを確認します。



<アドバイス>

- アップデート中に接続できる端末は1台のみです。
- 「アップデート失敗」が表示された場合、画面の注意事項を確認して、『OK』ボタンをタップして再度アップデートをしてください。アップデートが完了しないと盗難抑止機能が作動しません。
- アップデートが未完了の場合でもエンジン（パワーシステム）の始動はできます（盗難抑止機能は無効）。



17.2 通知メッセージから更新する

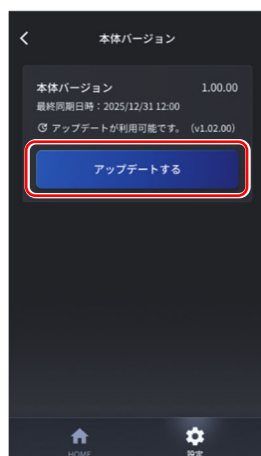
1. 本体ソフトウェアの新しいバージョンがリリースされると、「HOME」画面に「本体の更新があります。」のメッセージが表示されます。



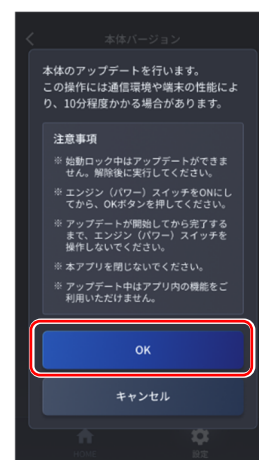
2. 『更新する』ボタンをタップします。



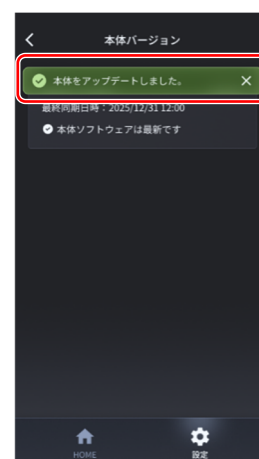
3. 『アップデートする』ボタンをタップします。



4. 画面の注意事項を確認し、エンジン（パワー）スイッチをON にして、『OK』ボタンをタップします。

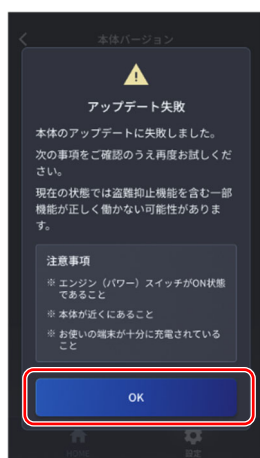


5. アップデートが完了したことを確認します。



<アドバイス>

- アップデート中に接続できる端末は1台のみです。
- 「アップデート失敗」が表示された場合、画面の注意事項を確認して、『OK』ボタンをタップして再度アップデートをしてください。アップデートが完了しないと盗難抑止機能が作動しません。
- アップデートが未完了の場合でもエンジン（パワーシステム）の始動はできます（盗難抑止機能は無効）。



18. 故障かな？と思ったときは

- 各事象のトラブル解決フローを参考に対応してください。
- トラブル解決フロー内の「端末の動作・設定」については、次ページを参照してください。
- 「故障かな？と思ったときは」の点検項目を確認しても改善しない場合、販売店にご相談ください。

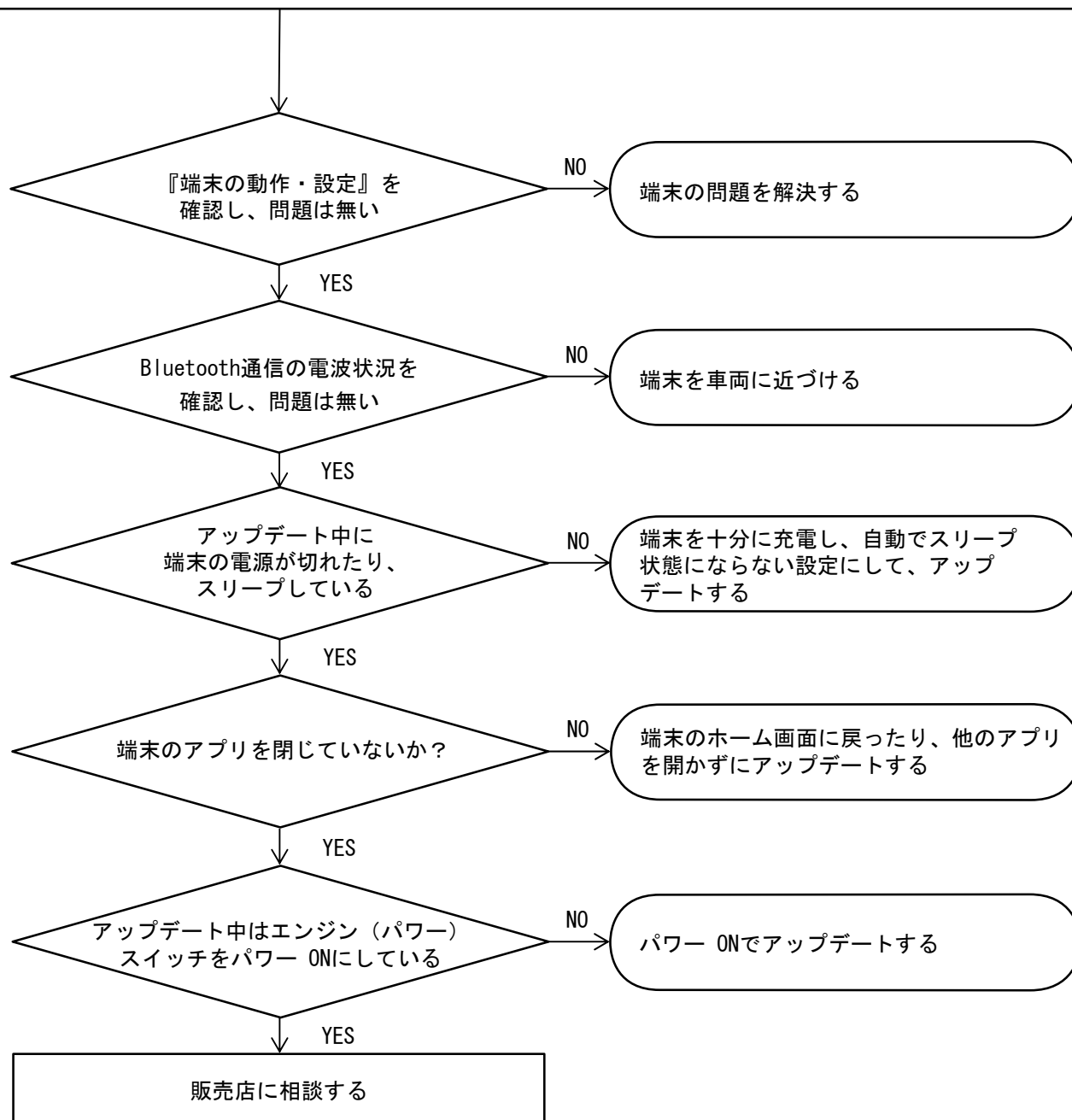
トラブル発生 タイミング	事象	
アプリインストール／ 起動時に発生	ソフトウェア更新ができない、失敗する (本製品の本体バージョンのアップデートができない)	P. 42
ログイン時に発生	車両検索画面に対象の本体 ID (下 4 ケタ) が表示されない	P. 43
	端末が接続できない (ログインできない)	P. 44
	・ 車両情報が設定されていない ・ 車両情報が間違っている	P. 45
	端末を接続してもすぐに接続が切れる	P. 46
	ユーザーパスワードを初期化 (本体ソフトウェア初期化) 後、アプリから 接続できなくなった	P. 47
端末・アプリ操作時に 発生	・ 端末から操作／設定変更ができない ・ 車両情報、設定／ログなどが更新／表示されない	P. 48
	緊急解除手順が登録できない	P. 49
乗車時に発生	端末上にリアルタイム通知 (OS 上のポップアップ) が表示されない	P. 50
	スピーカーから音が鳴らない	P. 51
エンジン (パワーシス テム) 始動時に発生	常時警戒 OFF、警戒時間外であるが威嚇／通知が発生し、エンジン (パワー システム) 始動ができない	P. 52
	常時警戒 ON、警戒時間内であるがエンジン (パワーシステム) 始動ができ る	P. 53
	「こちらの操作に心当たりはありますか？」にて「はい」をタップした、 もしくは始動ロック解除を行ったが、エンジン (パワーシステム) 始動が できない	P. 54
	「こちらの操作に心当たりはありますか？」にて「いいえ」をタップした がエンジン (パワーシステム) 始動ができる	P. 55
	緊急解除手順を実施しても、エンジン (パワーシステム) 始動ができない	P. 56
車両売却時に発生	端末操作による本体初期化ができない	P. 57

端末の動作・設定確認

- 端末（通信機器）の動作・設定を確認してください。
- 下表の確認事項が対応できない場合、使用している端末では本システムが使用できません。別の端末を使用してください。
- 下表の確認事項を対応して問題が解決した場合、個別事象へ戻り「YES」の先にすすんでください。

端末(通信機器)の確認事項	対応				
端末に最新バージョンのアプリがインストールされているか？	最新バージョンのアプリをインストールしてください。				
端末のOSが正規品のiOS 16以降またはAndroid 11以降か？	サポートされたOSを使用してください。				
Bluetooth 5.0以上をサポートしている端末を使用しているか？	サポートしている端末を使用してください。				
端末のストレージに十分な空き容量があるか？	端末の空き容量を増やして使用してください。				
端末のBluetooth機能はONになっているか？	Bluetooth機能をONにしてください。				
アプリに『Bluetooth』、『位置情報』、『通知』へのアクセスを許可しているか？	アプリに『Bluetooth』、『位置情報(常に許可)』、『通知』へのアクセスを許可する設定に変更してください。				
端末のシステム設定がアプリからの通知を禁止する設定になっていないか？	下記設定の見直しをしてください。 <table border="1"> <tr> <td>iOS</td><td>通知設定、低電力モード、集中モード、消音モード、スクリーンタイム</td></tr> <tr> <td>Android</td><td>通知設定、サイレントモード、バッテリーセーバー</td></tr> </table>	iOS	通知設定、低電力モード、集中モード、消音モード、スクリーンタイム	Android	通知設定、サイレントモード、バッテリーセーバー
iOS	通知設定、低電力モード、集中モード、消音モード、スクリーンタイム				
Android	通知設定、サイレントモード、バッテリーセーバー				
接続したい端末が他のデバイスとBluetooth接続していないか？	他のデバイスへのBluetooth接続を切断してください。				
接続したい端末以外が本体とBluetooth接続していないか？	他の端末とのBluetooth接続を切断してください。				
アプリおよび端末の再起動、キャッシュのクリアを試したか？	アプリおよび端末の再起動、キャッシュのクリアを行ってください。				

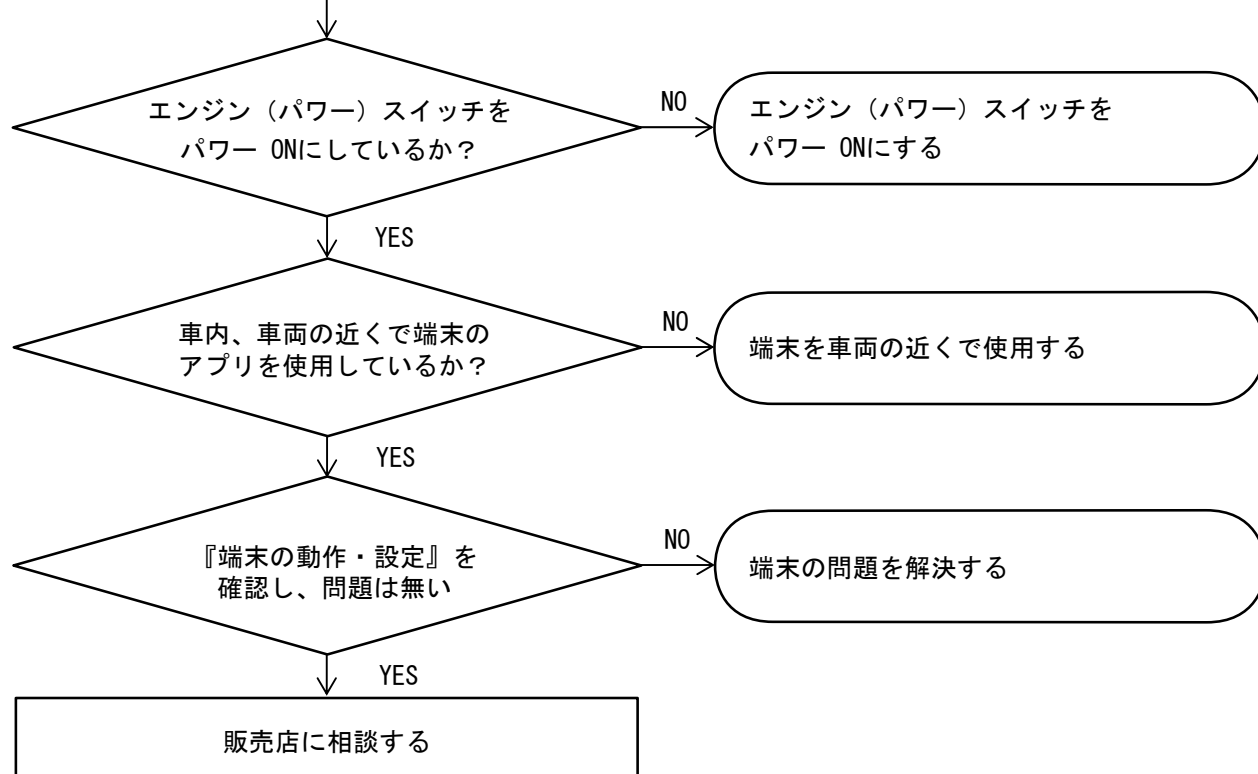
ソフトウェア更新ができない、失敗する
(本製品の本体バージョンのアップデートができない)



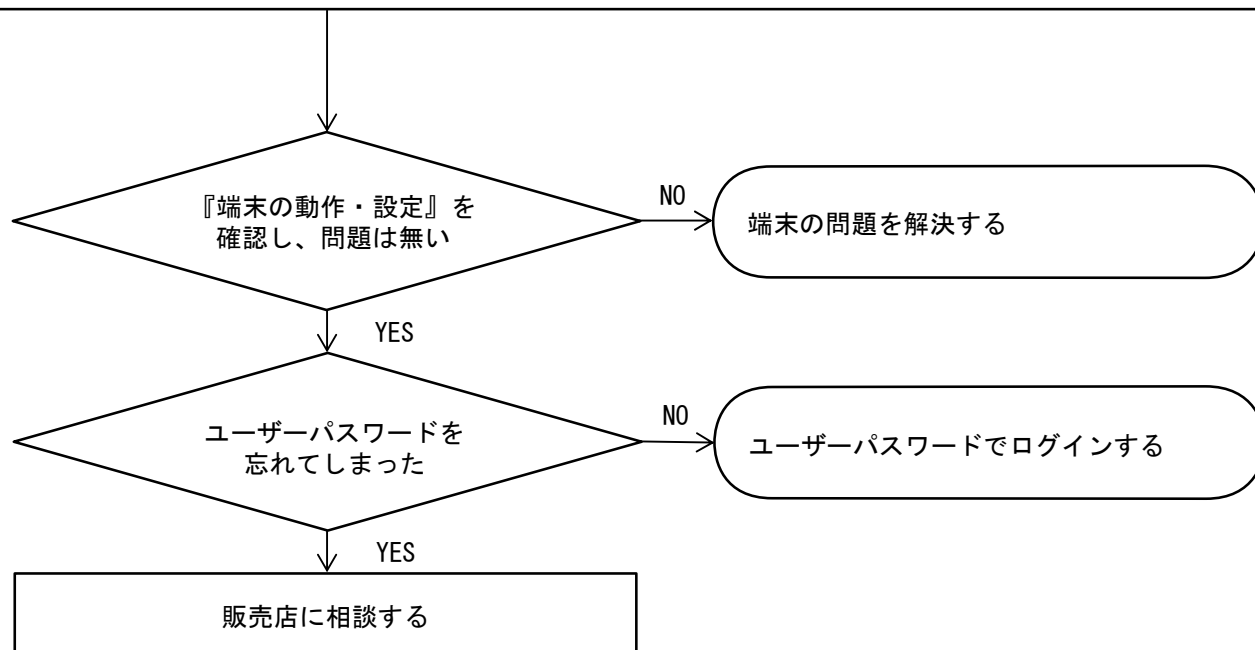
車両検索画面に対象の本体ID（下4ケタ）が表示されない

<ポイント>

接続画面に車両が表示されず、本体 ID（下4ケタ）が表示されている場合、
「車両情報が設定されていない」を確認してください。

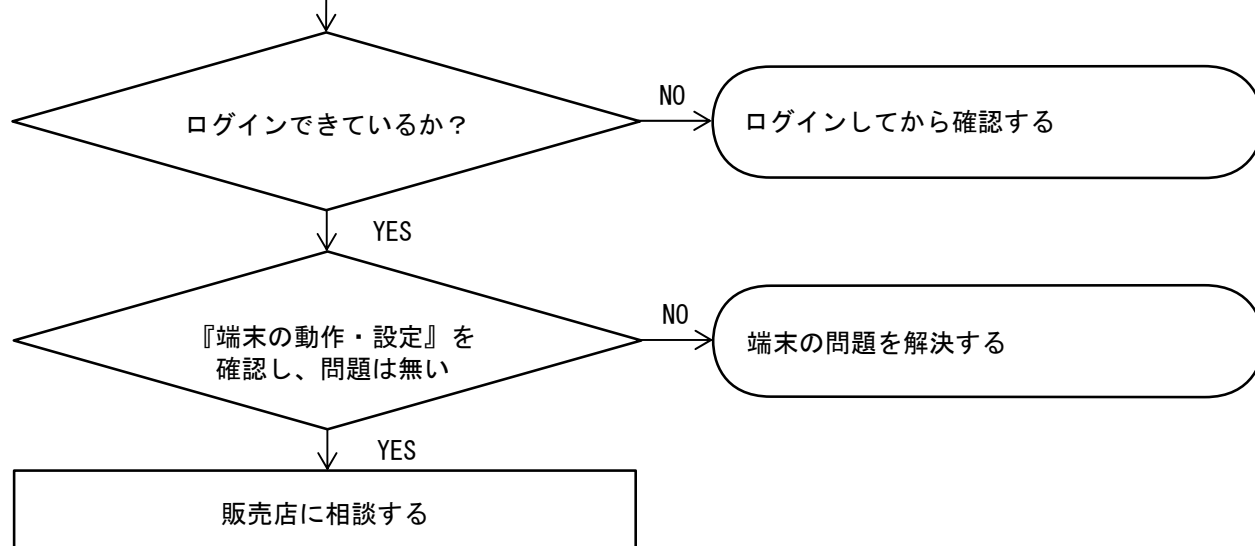


端末が接続できない（ログインできない）

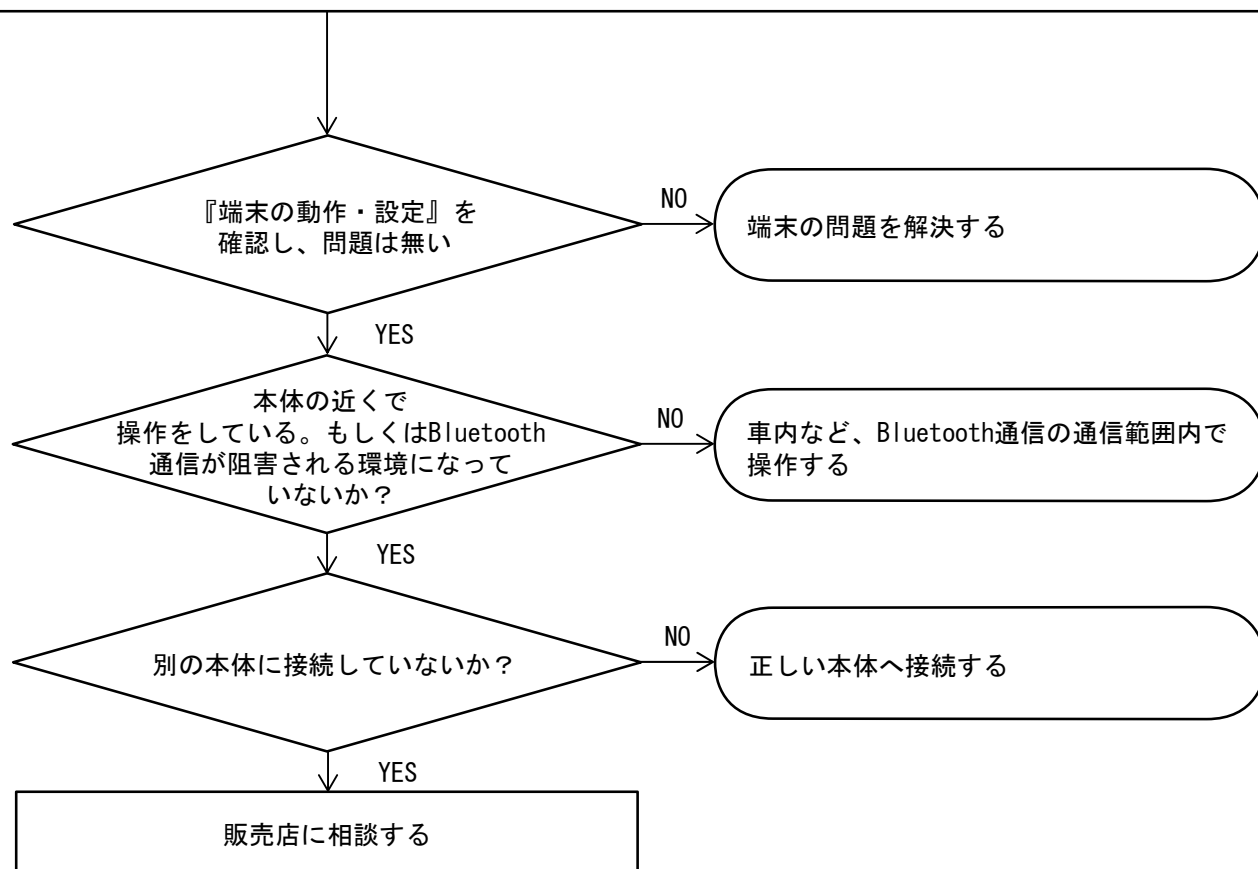


- ・車両情報が設定されていない
- ・車両情報が間違っている

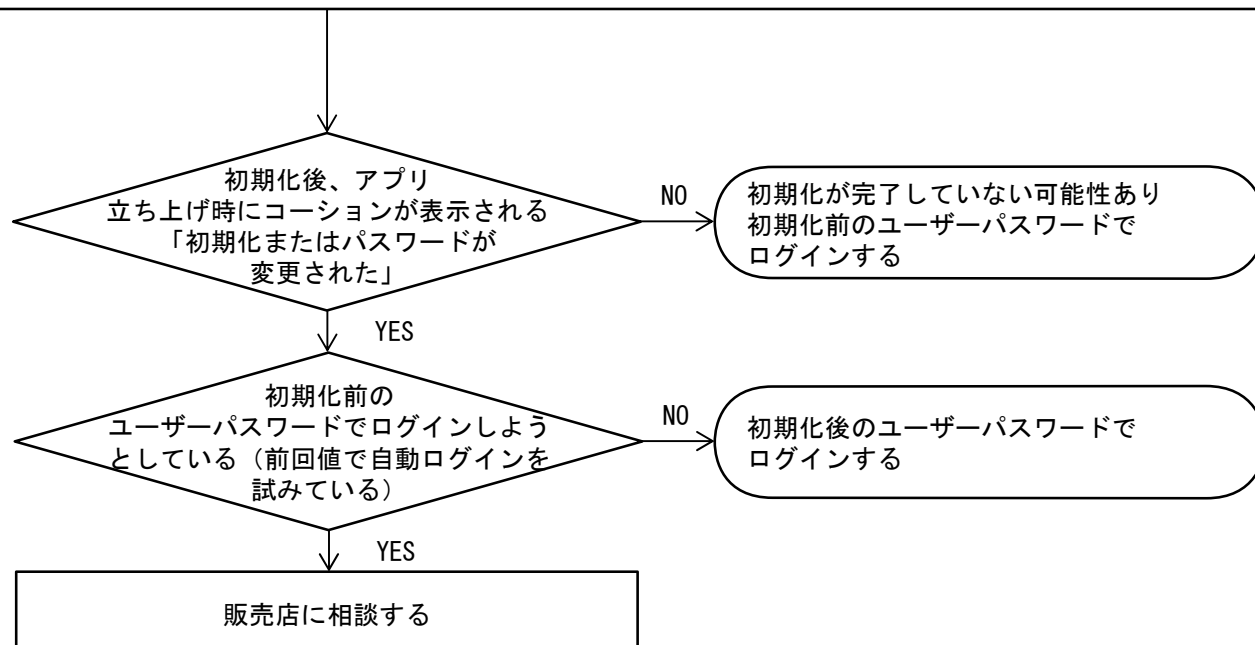
<ポイント>
車両の画像およびオプション・カラーは一部未対応があります。



端末を接続してもすぐに接続が切れる

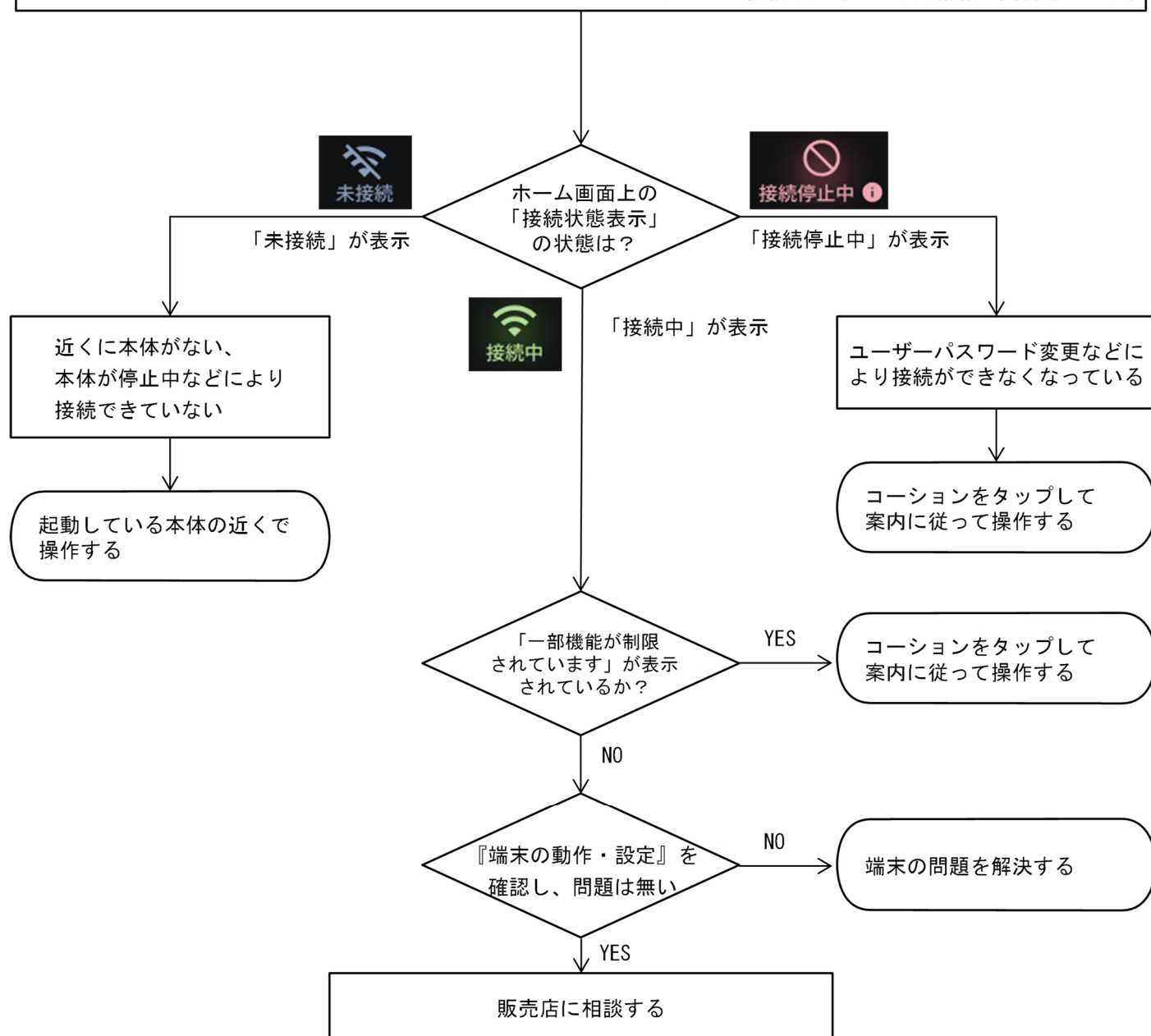


ユーザーパスワードを初期化（本体ソフトウェア初期化）後、
アプリから接続できなくなった



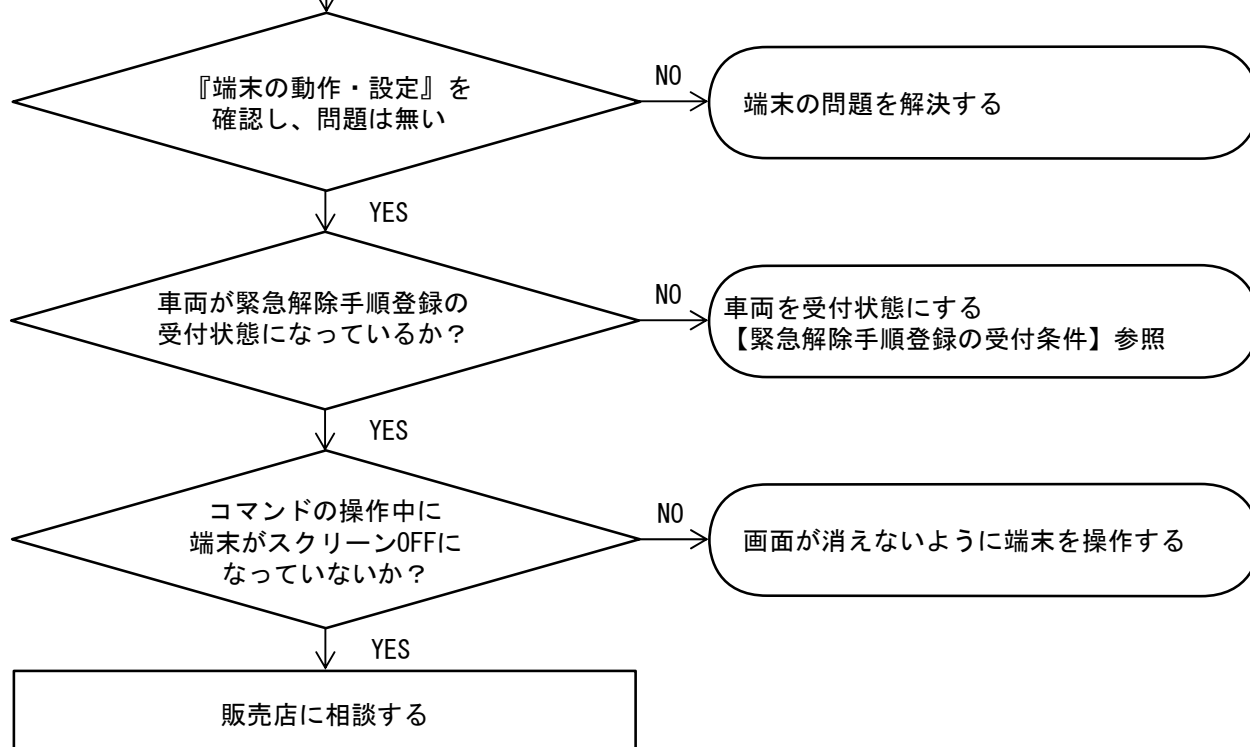
- ・ 端末から操作／設定変更ができない
- ・ 車両情報、設定／ログなどが更新*1／表示されない

*1. ログイン（接続中）時のみ車両情報は更新されます。

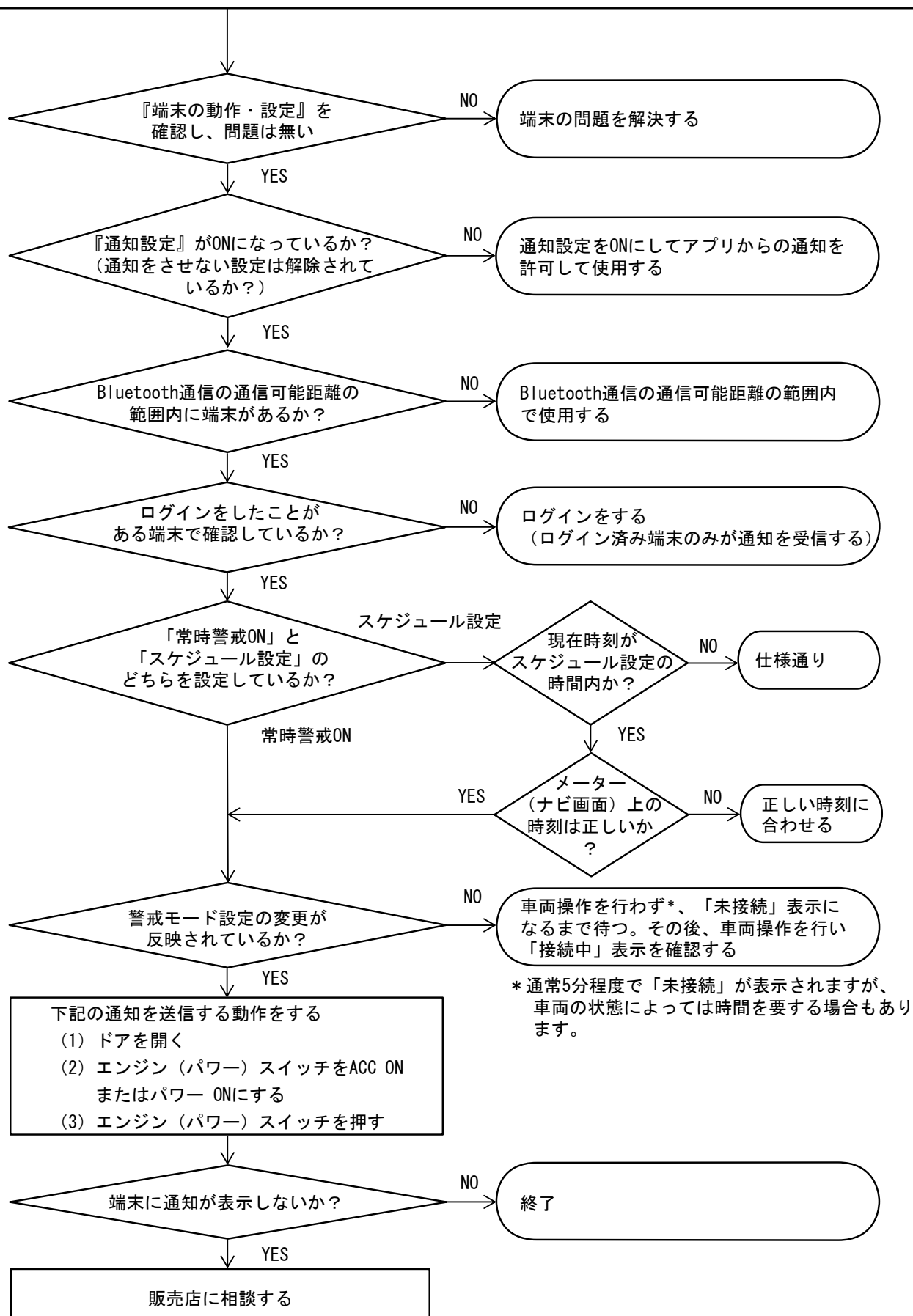


緊急解除手順が登録できない

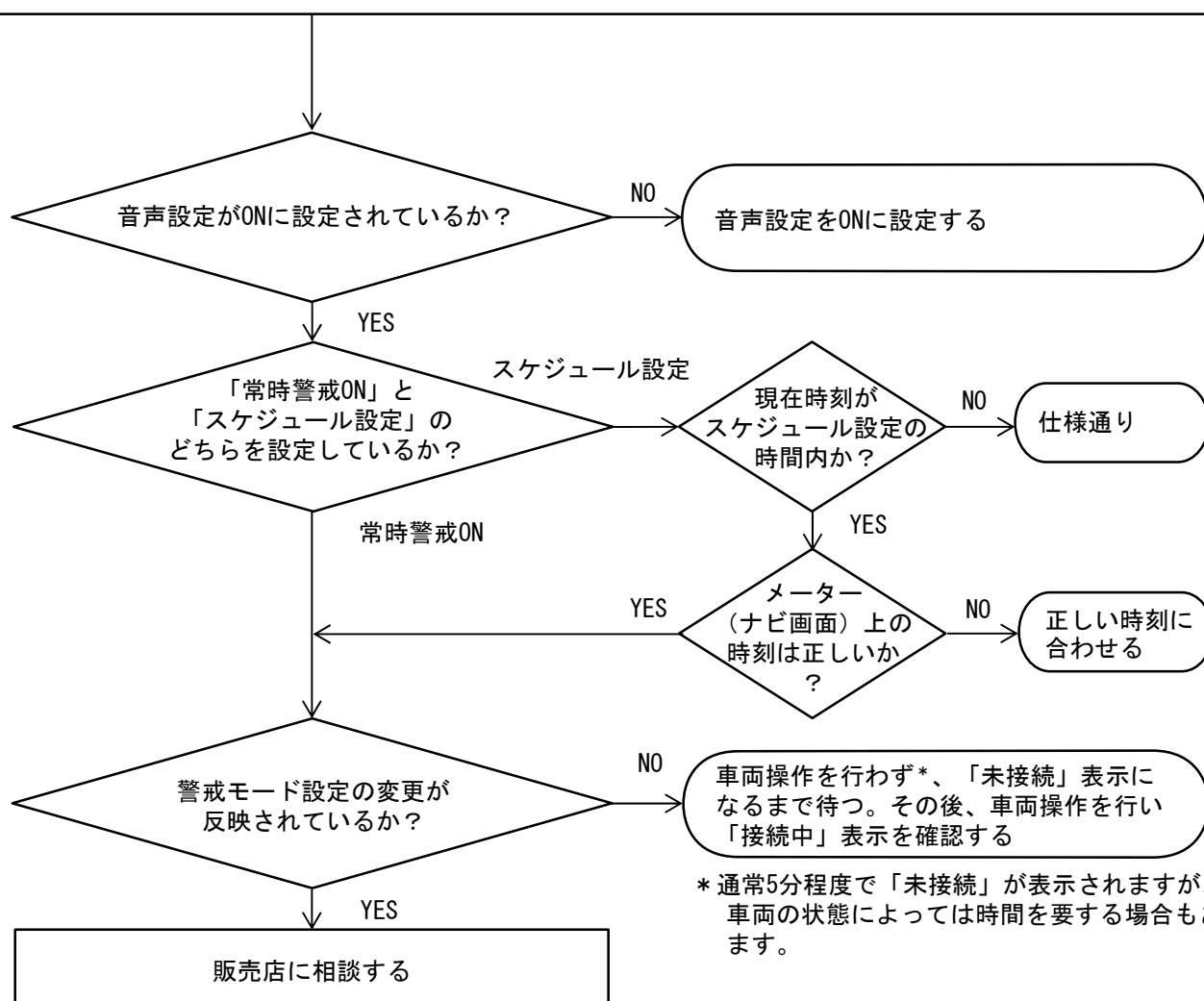
<ポイント>
端末を接続して緊急解除手順の登録を行ってください。



端末上にリアルタイム通知（OS上のポップアップ）が表示されない



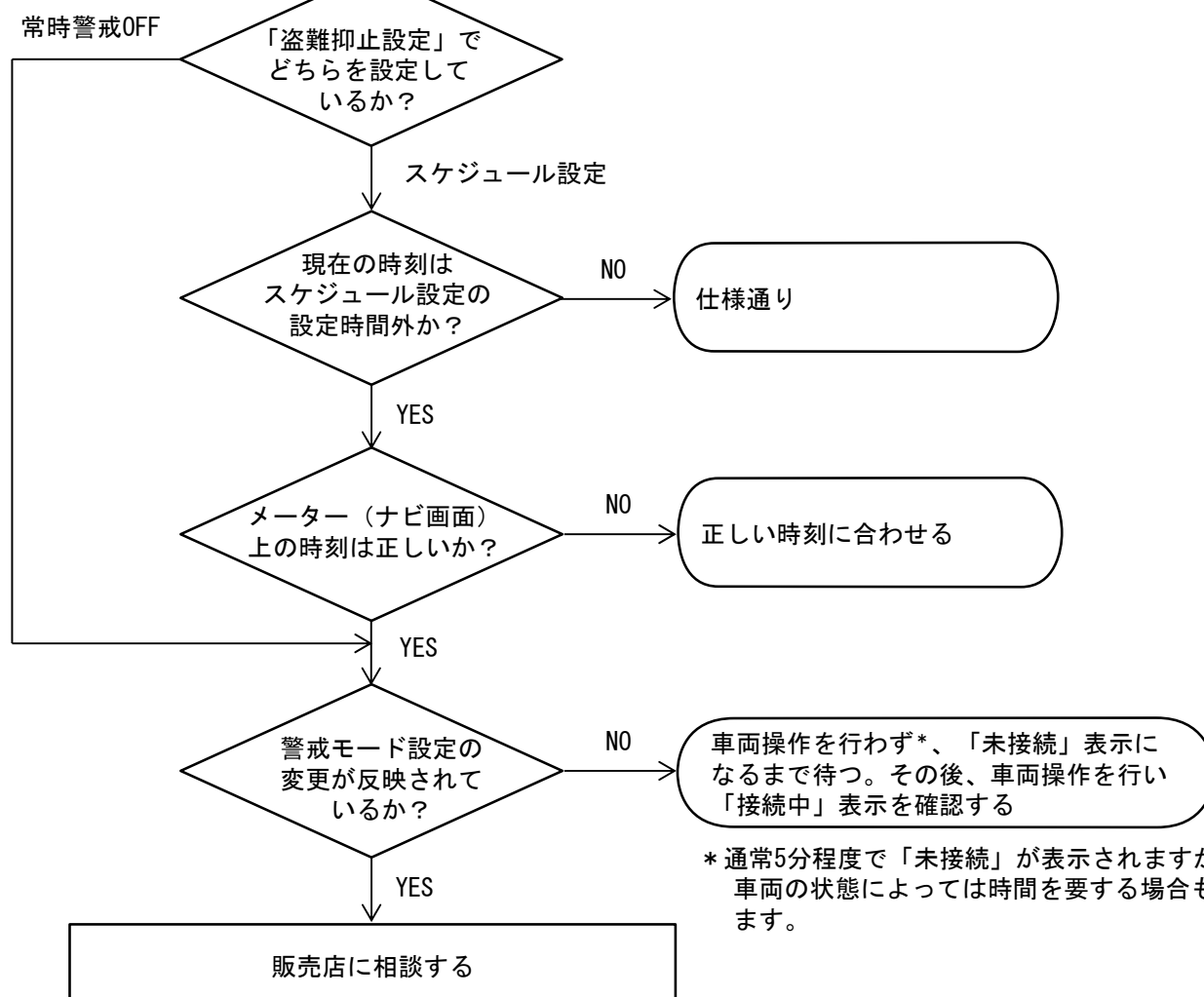
スピーカーから音が鳴らない



常時警戒OFF、警戒時間外であるが威嚇／通知が発生し、
エンジン（パワーシステム）始動ができない

<ポイント>

- 一時的な解除を行いたい場合、登録済みの緊急解除手順でエンジン（パワーシステム）始動を行ってください。
- スケジュール設定にしている場合、本体の時間が間違っている可能性があるため、設定をOFFにして試してください。

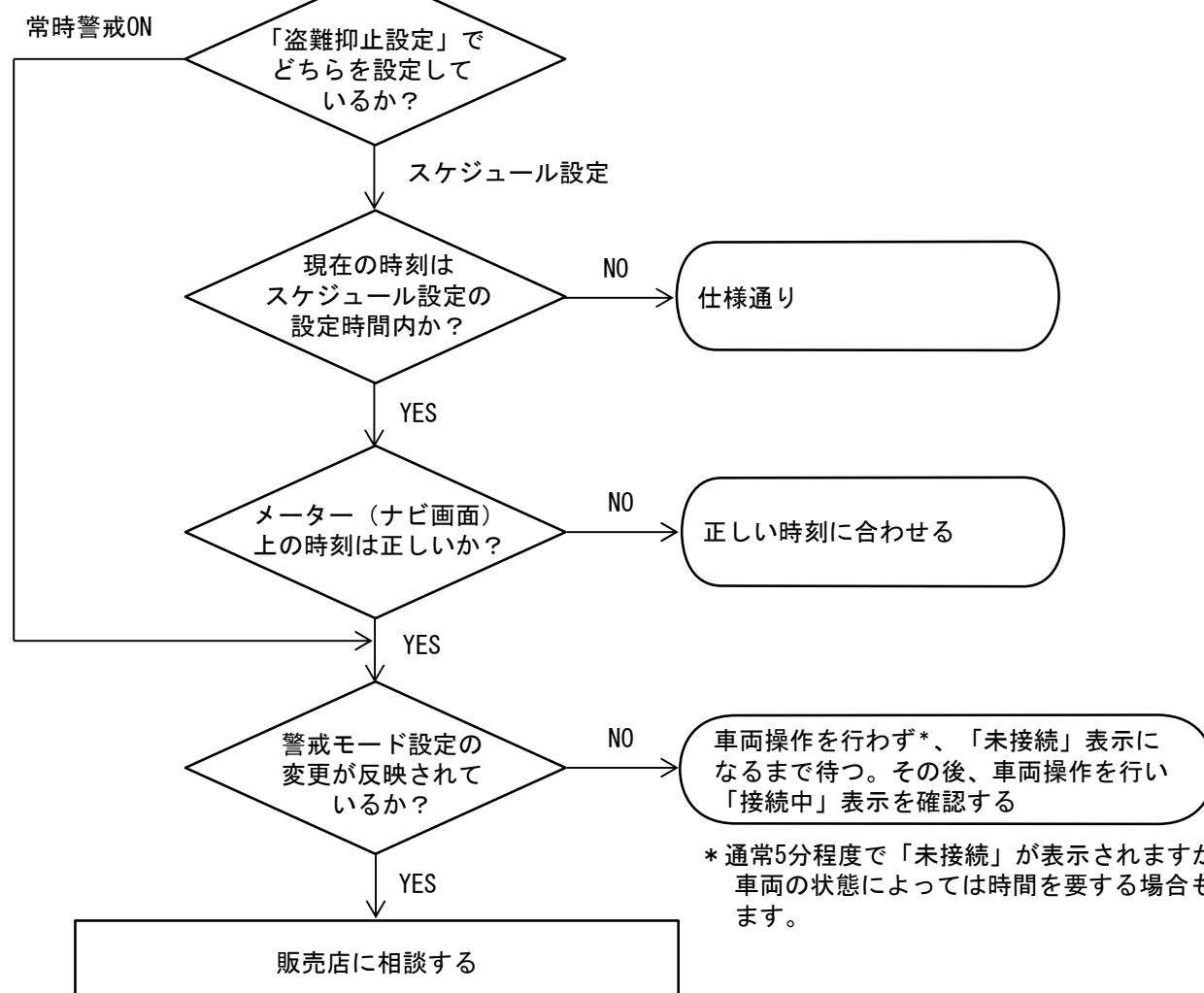


* 通常5分程度で「未接続」が表示されますが、車両の状態によっては時間を要する場合があります。

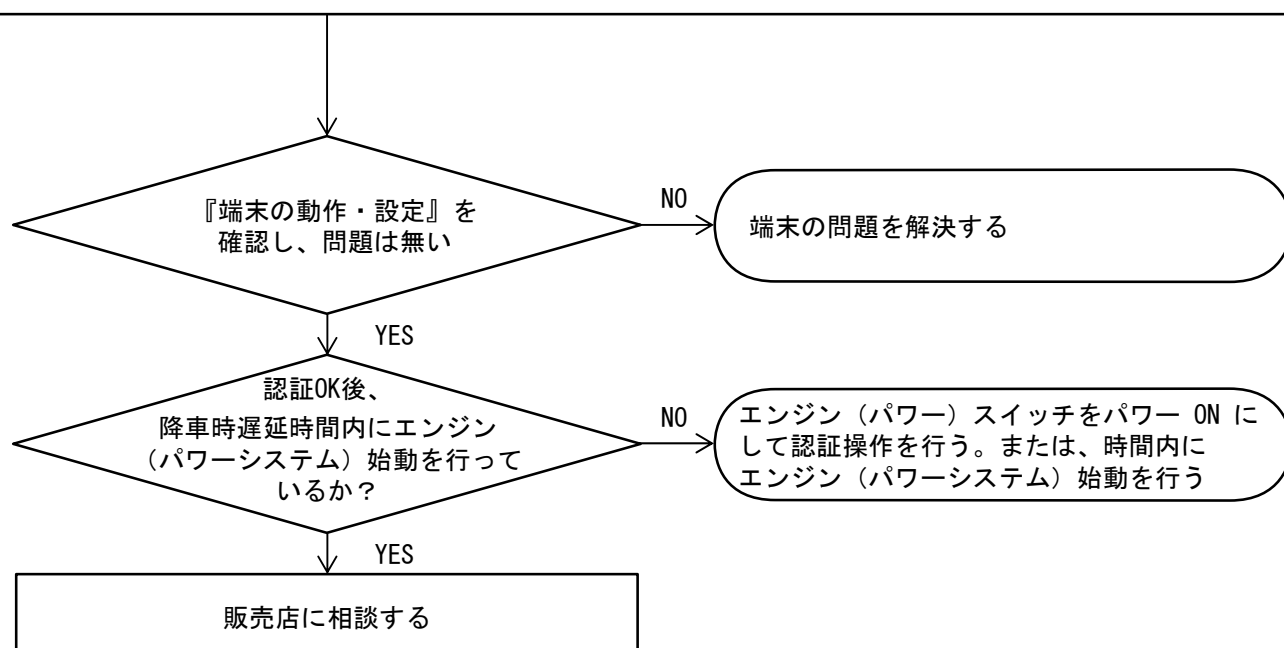
常時警戒ON、警戒時間内であるがエンジン（パワーシステム）始動ができる

<ポイント>

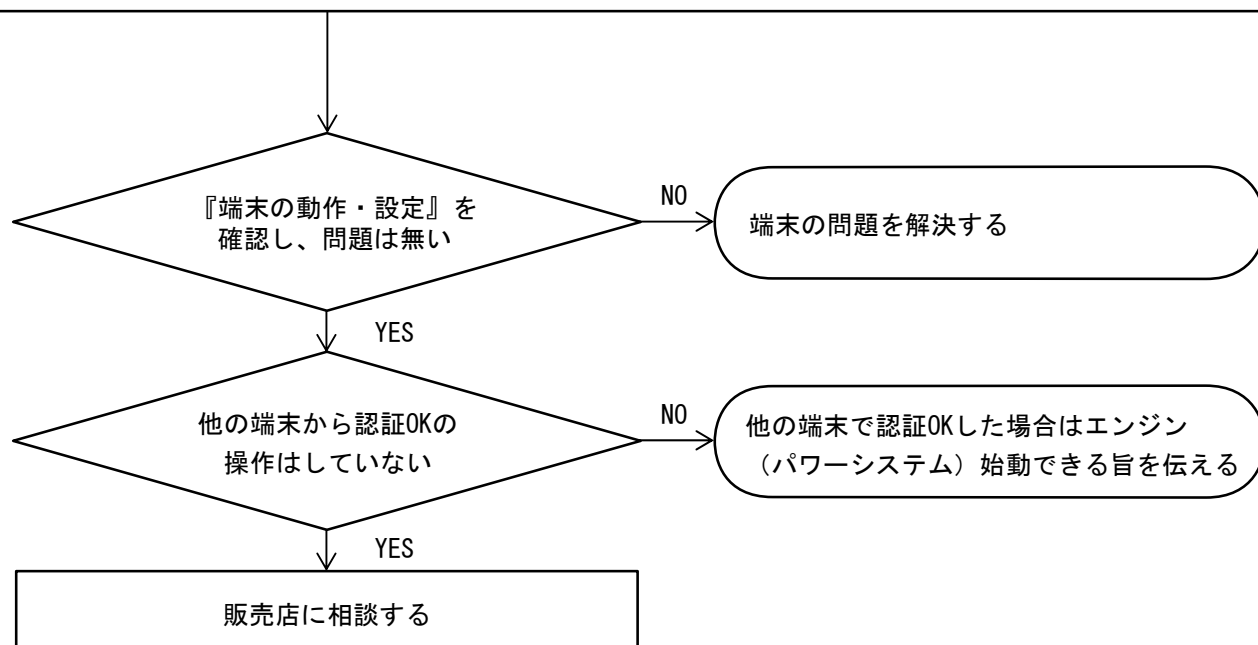
- 一時的な解除を行いたい場合、登録済みの緊急解除手順でエンジン（パワーシステム）始動を行ってください。
- スケジュール設定にしている場合、本体の時間が間違っている可能性があるため、設定をOFFにして試してください。

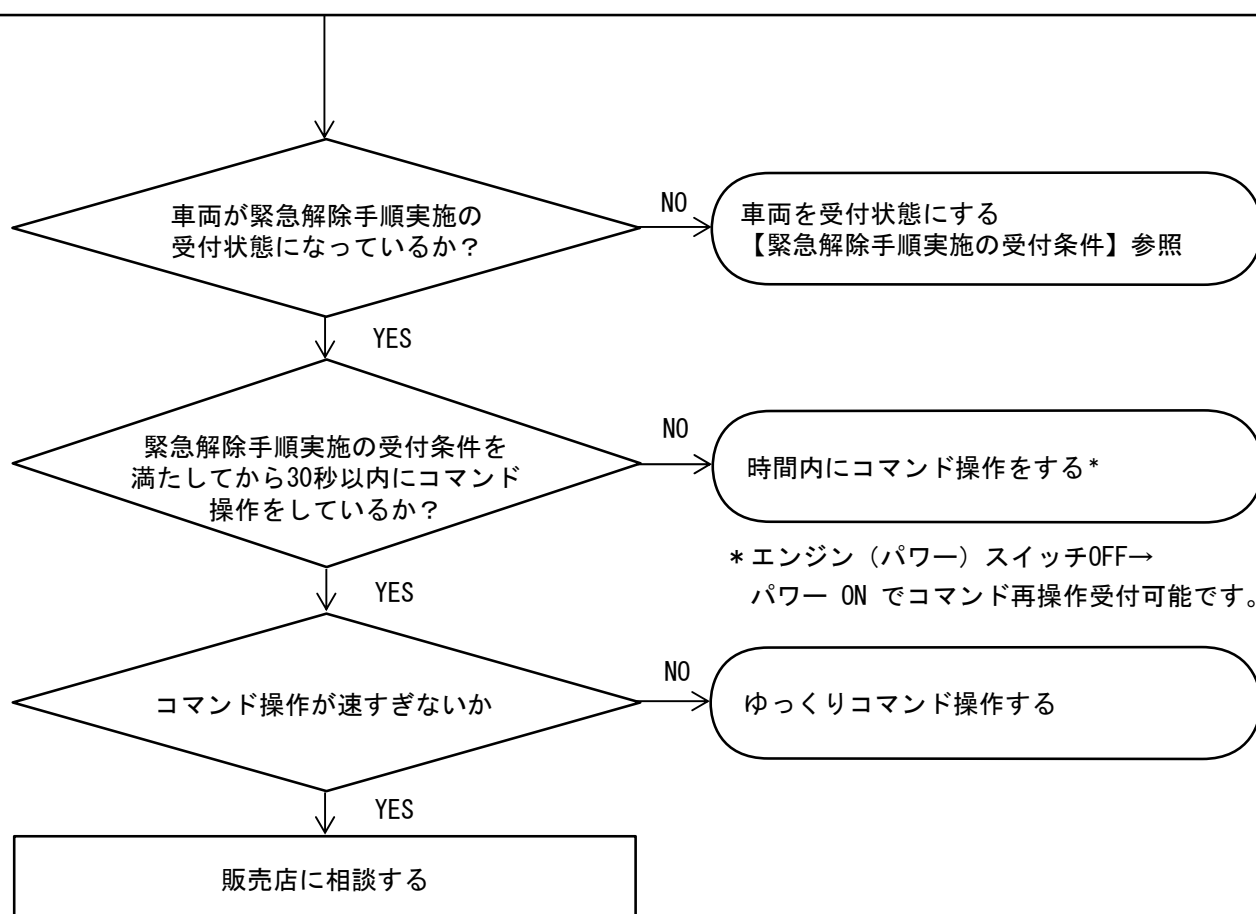


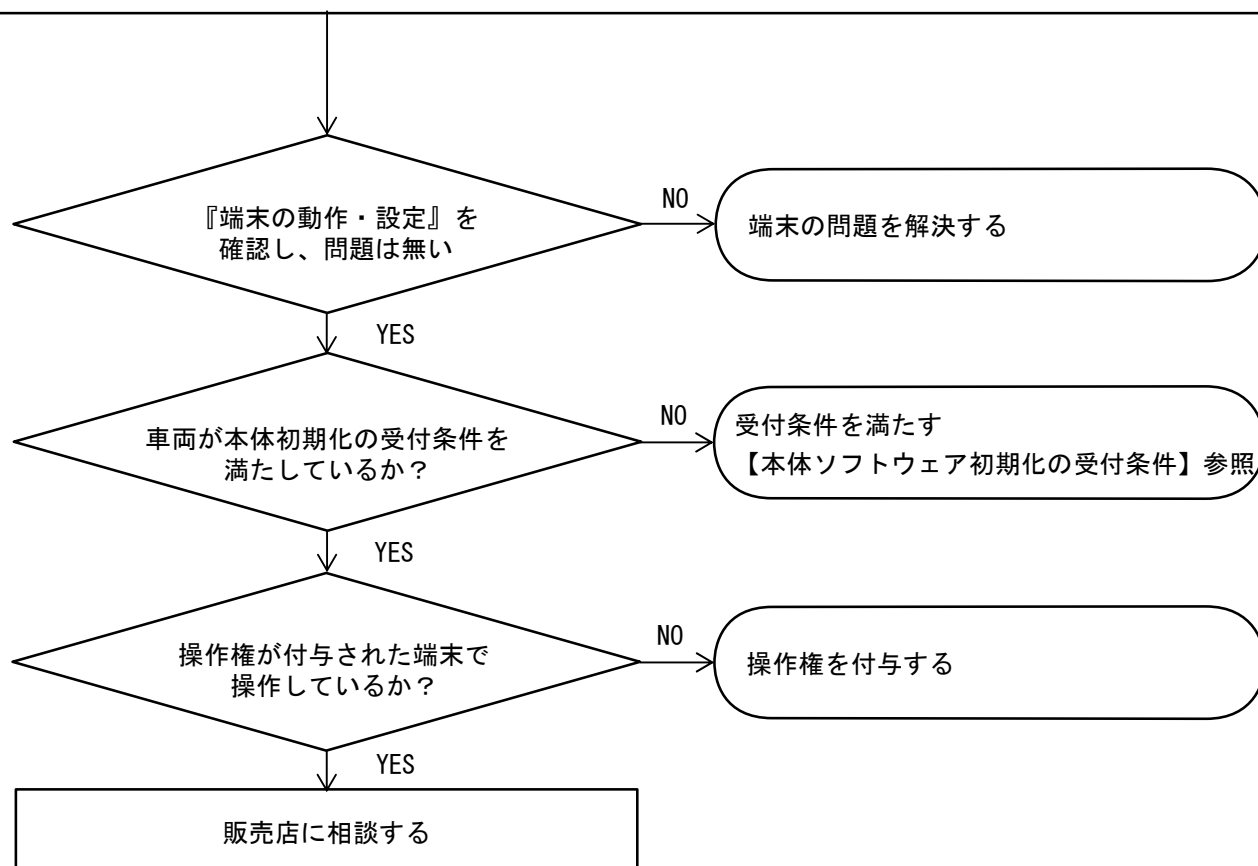
「こちらの操作に心当たりはありますか？」にて「はい」をタップした、もしくは始動ロック解除を行ったが、エンジン（パワーシステム）始動ができない



「こちらの操作に心当たりはありますか？」にて「いいえ」をタップしたがエンジン（パワーシステム）始動ができる



緊急解除手順を実施しても、エンジン（パワーシステム）始動ができない

端末操作による本体初期化ができない

製品の仕様などの変更により本書の内容と一致しない場合がありますのでご了承ください。